

Hisense

取扱説明書

保証書付き

全自动電気洗濯機 家庭用

品番

HW-K70XL-W



お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」(☞ 4、5 ページ) は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

もくじ

ご使用の前に

ご使用の前に 3

ふたロック	3
チャイルドロック	3

安全上のご注意 4

洗濯の流れ 6

各部の名称 7

本体.....	7
付属品.....	7
別売品.....	7
操作パネル部.....	8

洗剤と柔軟剤の自動投入...10

自動投入タンクへの洗剤・柔軟剤の入れかた	10
自動投入の基準値を設定する.....	11

自動投入の準備 12

自動投入量を変更する.....	12
自動投入をやめるには.....	12
自動投入経路に洗剤・柔軟剤を補充する.....	12

洗濯物の確認と準備 13

洗濯物の準備	13
洗濯物の重さの目安.....	13
洗濯できるもの・できないもの	13

洗剤・柔軟剤 (漂白剤・粉石けん) の手動投入について 14

洗剤の入れかた	14
柔軟剤の入れかた	14
漂白剤の入れかた	14
粉石けんの入れかた.....	14
その他のご注意	14
洗剤などを入れるタイミング	15
使用量の目安.....	15

コースについて 16

使いかた

洗濯のしかた 18

標準・おいそぎ・つけおき・念入りコース	18
自分流コース	18
お好みの設定・個別の設定	19
+機能	19
予約して洗濯する	20
おしゃれ着コース	21
毛布コース	22

便利な使いかた 24

のり付け	24
終了時の電子音の設定	24

お手入れ

お手入れ 25

槽乾燥 (洗濯・脱水槽を乾燥する)	25
槽洗浄 (洗濯・脱水槽を洗う)	25
本体・槽の清掃	26
自動投入タンク・経路の清掃	26
自動投入タンクの清掃	26
自動投入経路の清掃	27
柔軟剤投入ケース	28
糸くずフィルターの清掃	28
給水口の清掃	29



必要なときに

もしもの場合 29

据え付け 30

- | | |
|----------------------|----|
| ①設置場所 | 30 |
| ②排水ホースの設置..... | 31 |
| ③水平を確認する | 33 |
| ④給水ホースの接続..... | 33 |
| ⑤アースについて | 34 |
| ⑥電源（コンセント）について | 34 |
| ⑦試運転について | 34 |

Q&A 洗剤・柔軟剤の自動投入について 35

故障かな？！
と思ったら 36

ご使用の前に

まず据え付け状況の点検をし、安全上のご注意を守ってお使いください。

水漏れや排水異常などの問題があるときはお買い上げの販売店または施工業者にお問い合わせください。

洗濯機は安全のため、ふたをロックする機構が付いています。故障ではありません。

小さいお子様のいる家庭などではチャイルドロックも使用できます。

ふたロック

安全のため、洗濯運転が開始されると、ふたが自動でロックされ、ふたロックランプが点灯します。

運転中にふたを開けたいときに

を押して、一時停止させると、洗い、すすぎ時は、約2秒後にロックが解除されます。

脱水時は安全のため、約8秒後に解除されます。ふたロックランプ消灯後ふたを開けてください。



ふたロックランプが点灯中は無理にふたを開けないでください。
故障・破損のおそれがあります。

スタート
一時停止

チャイルドロック

子供の事故を防ぐために、運転中も、電源を切った後もふたが開かないようにする設定です。



を押し、ふたを閉める。

を3秒間押す。ピッと鳴り、**BB**が表示され、ふたロックランプが点灯し、チャイルドロックランプが点滅します。スタートすると、点灯に切り替わります。

ロックを解除せずに、電源を切るとランプも消灯しますが、ロックは解除されません。

チャイルドロックを解除するには

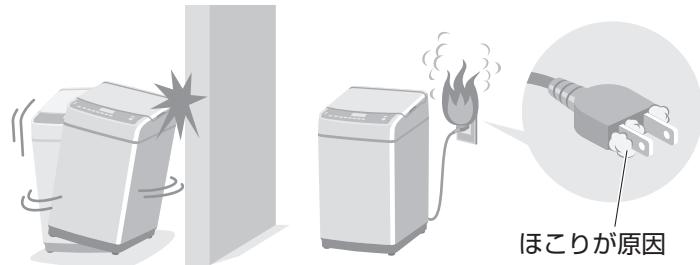


を3秒間押す。ピッと鳴り即時にチャイルドロックが解除されランプが消灯します。

安全上のご注意

お使いになるご本人や周囲の人々への危害・物的損害を未然に防止するため、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

誤った使い方をしたり、注意やお手入れを怠ることで…こんな事故が起きてています。



ほこりが原因

- 本体の激しい振動・転倒による壁などの損壊
- 電源プラグからの発火（トラッキング現象）

警告

子供の事故を防ぐ

- 子供には洗濯・脱水槽をのぞかせない
- 洗濯機の近くに台などを置かない
洗濯・脱水槽の中に子供が落ちてけがをしたりおぼれたりする原因になります
- 判断能力が不十分で補助を必要とする方や子供などに単独で洗濯機を使わせない
- 洗濯機で遊ぶことがないように、子供の動きに気を付ける



電源プラグ・電源コードの発火や漏電を防ぐ (感電・ショート・発煙・発火・火災のおそれ)

- 電源コードを束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
- ぬれた手で抜き差ししない
- 電源コードが破損した場合、電源コードや電源プラグは修理技術者以外の人が分解したり修理しない
- タコ足配線や延長をしない



- 定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを単独で使う
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
- 電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はよく拭く
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



アースを取り付ける（漏電時に感電のおそれ）

- 工事は販売店に依頼してください
(工事費は本体価格に含まれていません)

本体の故障や事故を防ぐ

(感電・けが・電気部品の損傷・本体の転倒・ふたの割れや傷のおそれ)

- 家庭用なので、業務用目的で使用しない
- 浴室・シャワー室などには据え付けない
- 風雨にさらされる所には据え付けない
- 本体各部に直接水をかけない
- 火気を近づけたり、たばこ・蚊取り線香・熱いやかんなどを洗濯機のそばに置かない
火災や変形の原因になります
- 改造は絶対にしない、また修理技術者以外の人が分解したり修理しない
- カーペットなどで、洗濯機の下を塞がない
故障や火災の原因になります
- 電源プラグを本体で押しつけない
傷つき、加熱発火の原因になります



運転時の爆発や火災を防ぐ (油などの酸化熱による自然発火や引火のおそれ)

- 洗濯・脱水槽には、絶対に灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどや、それらの付着した洗濯物を入れたり、近づけたりしない
爆発や火災の原因になります



感電・漏電・ショートによる火災を防ぐ (感電・発火・火災のおそれ)

- 本体が動かない、煙が出ている、変なにおいがするなど異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検、修理を依頼する



洗濯・脱水槽への巻き込まれを防ぐ (ゆるい回転でも洗濯物が手に巻き付いてけがのおそれがあります)

- 洗濯・脱水槽の回転が完全に止まるまでは、絶対に中の洗濯物や洗濯・脱水槽に手を触れない
特に子供には注意してください



■表示の分類 本書では、必ずお守りいただく事項を以下のように分類しています。

!**警告**

人が死亡または重傷を負うなど、重大な損害を受ける可能性がある内容を示します。

!**注意**

人が負傷したり、物が破損する可能性がある内容を示します。

!**注意**

けがや、本体の損傷を防ぐために

- 運転中、洗濯機の下に手や足をいれない
- ロックされた状態のふたを無理にあけない

洗濯物の飛び出し、異常振動によるけが、本体・床・壁などの破損、衣類の損傷、水漏れなどを防ぐために

- 防水性の衣料・繊維製品は、洗濯・脱水・風乾燥をしない



オムツカバー、サウナスツ、
ウェットスーツ、レインウェア、
寝袋、キルティング、スキーウェア、
自転車・バイク・自動車のカバー、
レジャーシート、おねしょシーツなど

水漏れを防ぐために

- 洗濯前に水栓を開いて、給水ホースの接続を確認する
- 使用しないときは、水栓を閉じておく

本体の損傷による故障や、水漏れ、けがなどを防ぐために

- 洗濯機の上にのぼったり、重いものを載せたりしない
- 洗濯のとき、50℃以上のお湯は使用しない
- 使用中に電源プラグを抜かない、電源を切ってから電源プラグを抜いてください

洗濯物の損傷を防ぐために

- 洗濯する前に、ヘアピン、コインなどをポケットから取り出す
- 洗濯物のひもなどは結び、ファスナー・ボタンは閉める

■図記号の意味



してはいけない内容を示します。



必ず実行しなければならない内容を示します。

その他

- ラジオやテレビなどを近づけない
(雑音・映像の乱れの原因) 離れたコンセントを使う
- 井戸水をお使いの場合、水質により、異物の混入・黒カビなどが発生し、故障の原因になることがあります。ご注意ください。



洗濯の流れ

ご使用の前に



事前の準備 洗濯物の確認と準備 (☞ 13 ページ)

1・洗濯物を入れる

2・電源を入れる

切/入

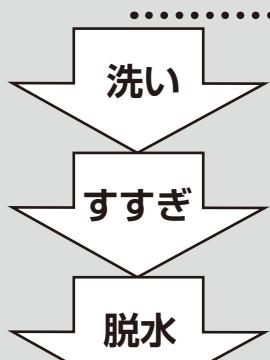
3・コースを選ぶ

コース

4・スタートする

スタート
一時停止

5・洗剤を入れる (手動投入の場合)



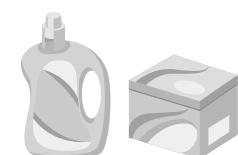
水栓を開ける
洗濯物を入れる
ふたを閉める

電源を入れる

洗濯内容にあったコースを選ぶ

- 追加でお好みの設定をする (☞ 16-17、19-20 ページ)
- 洗剤・柔軟剤の自動投入の設定を確認する (☞ 11 ページ)

スタートする



- ふたを開けて、表示目安に合わせて (☞ 15 ページ) 洗剤を投入後ふたを閉めると洗いが始まります。必要なら柔軟剤も入れてください。
- ふたが開いたままだと、5 分ごとにピッピッピッピッと音が鳴ってお知らせします。

※お知らせ音は
5 分おきに鳴り
25 分後に
止まります。



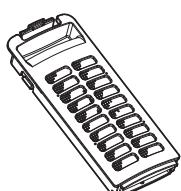
- 部屋干しの時間を短縮できます (☞ 20 ページ)

6・洗濯物を取り出す

ブザーが鳴り運転終了
水栓を閉める

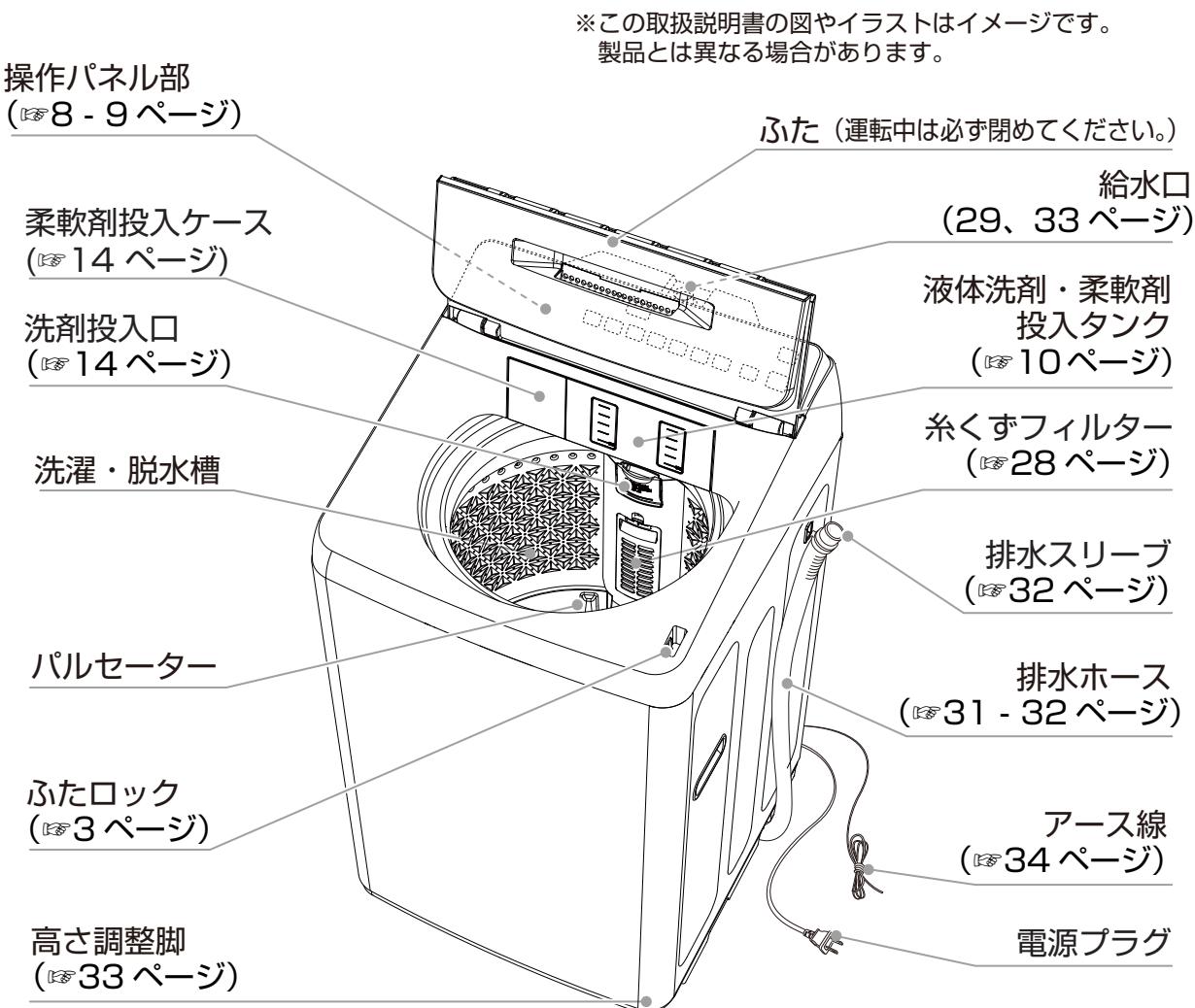


お手入れをする
(☞ 25-29 ページ)

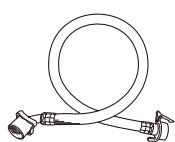


各部の名称

本体



付属品



給水ホース
(33 ページ)



給水つぎ手
(33 - 34 ページ)



排水スリーブ
(32 ページ)

別売品

糸くずフィルター (28 ページ)

糸くずフィルターは消耗品です。
やぶれたり、破損したときは
交換してください。

別売部品

部品コード : 2378317

希望小売価格 1,100 円 (税込)
(2025年7月現在)



真下排水パイプ

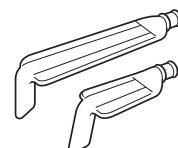
(L型 2本一組) (32 ページ)

排水口が本体の下にある場合、
真下排水パイプをお買い求めください。

別売部品

部品コード : 2078599

希望小売価格 1,650 円 (税込)
(2025年7月現在)



操作パネル部

ご使用の前に

Hisense

7kg

HW-K70XL-W



取扱説明書

QR コード

スマートフォンの読み取り機能で製品の取扱説明書を読み込むことができます。

洗濯量の検知

標準・つけおき・念入り・自分流コースを選択した場合は、洗濯量を検知して「洗い」「すすぎ」「脱水」を自動で設定します。
※自分流のコースは設定内容により異なります。洗濯・脱水槽に水が入っている場合は検知できません。

水量ボタン／表示

洗濯物量の検知後や、コースで設定した水量を表示します。洗剤投入時の洗剤量の目安として使います。（☞ 15 ページ）

水量を変更する場合、ボタンを押すと、37Lのランプが点灯します。その後、押すごとに、37L → 43L → 50L → — → 18L → 24L → 31Lと表示します。

ランプ点滅はランプの左側、点灯はランプ右側の数字が水量（L）です。
(☞ 15 ページ)

自動で表示する最低水位は 24L です。手動では 18L が選択できます。

洗いボタン

選択された場合はランプが点灯し、運転中に工程が進行中はランプが点滅します。

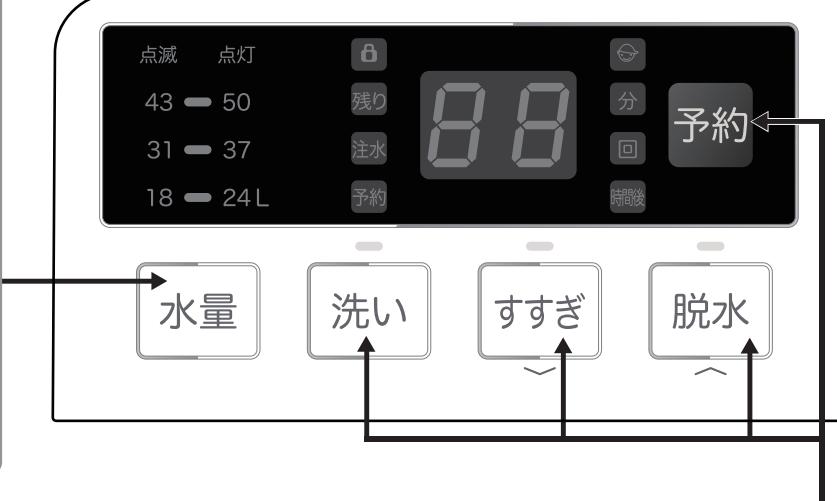
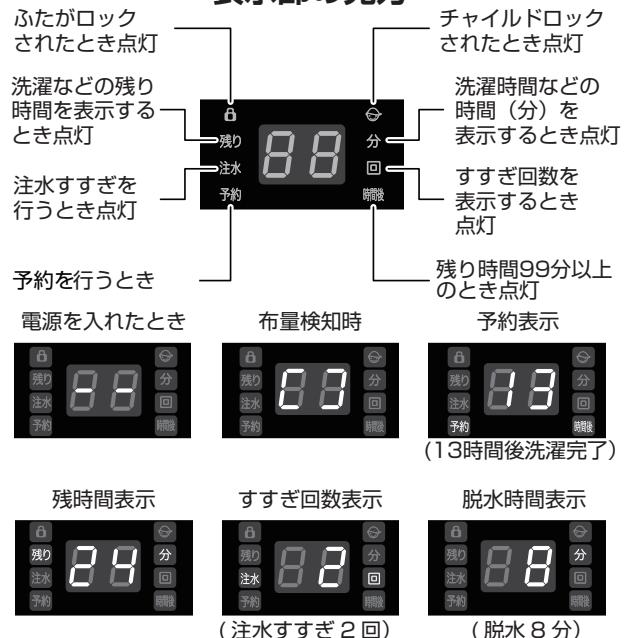
- ボタンを押すごとに 0 分、3 分、6 分、9 分、12 分、15 分の洗い時間の設定ができます。



- ※ 1 毛布コースは 10 分のつけおき時間を含む 25 分の設定のみ可能。
- ※ 2 +機能の香＆消臭では、上記の洗濯時間に 10 分のつけおき時間が追加されます。
- ※ 3 +機能の2度洗いでは、上記の洗濯時間の前に予洗いが追加されます。

標準・自分流コースで「洗い」「すすぎ」「脱水」をボタン 3 秒以上長押しすると、単独の設定ができます。

表示部の見方



すすぎボタン

選択された場合はランプが点灯し、運転中に工程が進行中はランプが点滅します。

- ボタンを押すごとにすすぎ回数、すすぎの種類が変わります。数字のランプの点灯および注水ランプの点灯の有無で右側の表示となります。

すすぎの種類

■ シャワーすすぎ：槽を回転しながら、シャワーのように水をかけます。

※標準コースと自分流コースのみシャワーすすぎを行います。

■ ためすすぎ：槽に水をためてすすぎます。

■ 注水すすぎ：給水と排水を同時にい、

柔軟剤・洗剤ボタン／表示

洗剤・柔軟剤の自動投入を設定する。
(☞ 10-12ページ)

初めて自動投入を使うとき、自動投入経路の洗剤補充操作を行ってください。
(☞ 12ページ)

- 一度自動投入しない設定にすると、記憶され、次回も初期状態は自動投入しない設定になります。
- 押すごとに、以下のように切換わります。

標準 → 多め → 少なめ → (消灯)
↑

「多め」	いずれか点灯	洗剤、柔軟剤の点灯している量で自動投入できます。
「標準」	すべて消灯	自動投入できません。(手動投入になります)

多め	多め	標準	自分流
標準	標準	香&消臭	おいそぎ
少なめ	少なめ	2度洗い	おしゃれ着

多め	多め	標準	自分流
標準	標準	おいそぎ	おしゃれ着
少なめ	少なめ	2度洗い	つけおき

多め	多め	標準	自分流
標準	標準	おいそぎ	おしゃれ着
少なめ	少なめ	2度洗い	つけおき

多め	多め	標準	自分流
標準	標準	おいそぎ	おしゃれ着
少なめ	少なめ	2度洗い	つけおき

多め	多め	標準	自分流
標準	標準	おいそぎ	おしゃれ着
少なめ	少なめ	2度洗い	つけおき

多め	多め	標準	自分流
標準	標準	おいそぎ	おしゃれ着
少なめ	少なめ	2度洗い	つけおき



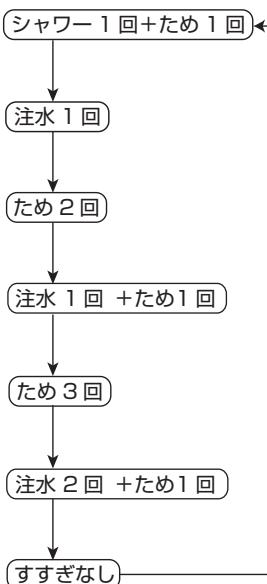
自動投入

機能
(3秒押し)コース
チャイルドロック
(3秒押し)切/入
電源スタート
一時停止

スタート／一時停止ボタン

運転を開始します。運転中に押すと、一時停止します。もう一度押すと、一時停止した状態から再開します。

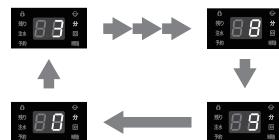
※スタートボタンと電源ボタンを同時に5秒間押すごとで、運転終了音を鳴らさない設定にできます。
(☞ 24 ページ)



脱水ボタン

設定の脱水時間は文字ランプが点灯し、以下の組み合わせで表示されます。

- ボタンを押すごとに0分、または3分～9分の間で1分単位で設定できます。



予約ボタン

予約運転の設定ができます。
(☞ 20 ページ)

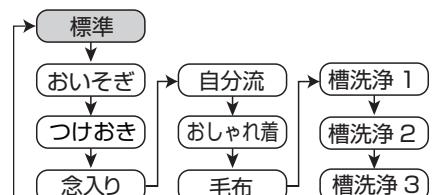
- 予約設定は1～24時間で、1時間単位で設定できます。

コースボタン／表示

電源投入時には、標準のランプが点灯します。

ボタンを押すと、コースの横のランプが点灯し選択ができます。

(☞ 16-17 ページ)



チャイルドロック

ボタンを3秒間押して設定(チャイルドロックランプが点灯します。)
(☞ 3 ページ)



洗剤と柔軟剤の自動投入

買い上げ時は自動で洗剤、柔軟剤を投入（自動投入）設定になっています。
手動投入をする場合は、12ページの「自動投入をやめるには」を参照してください。

洗剤・柔軟剤自動投入タンクへの洗剤・柔軟剤の入れかた

1

洗剤自動投入タンクを引出し、 フタを開け、液体合成洗剤を入れる

- 「MAX」ラインまで入れると 約550mℓ入れることができます。

2

柔軟剤自動投入タンクを引出し、 フタを開け、柔軟剤を入れる

- 「MAX」ラインまで入れると 約550mℓ入れることができます。

3

フタを閉め、元の通り、奥まで しっかり取りつける

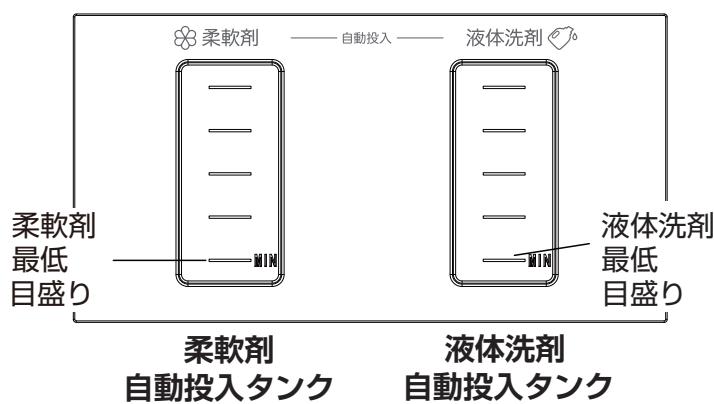
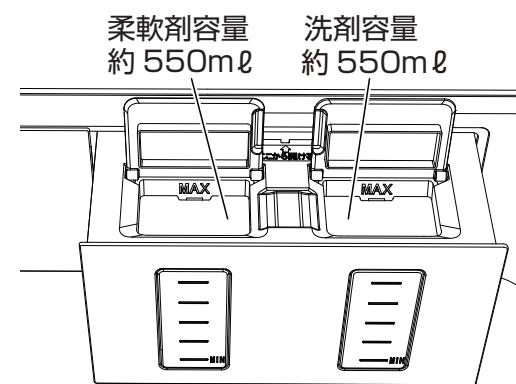
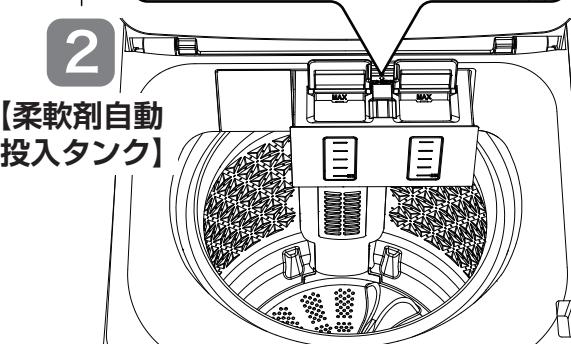
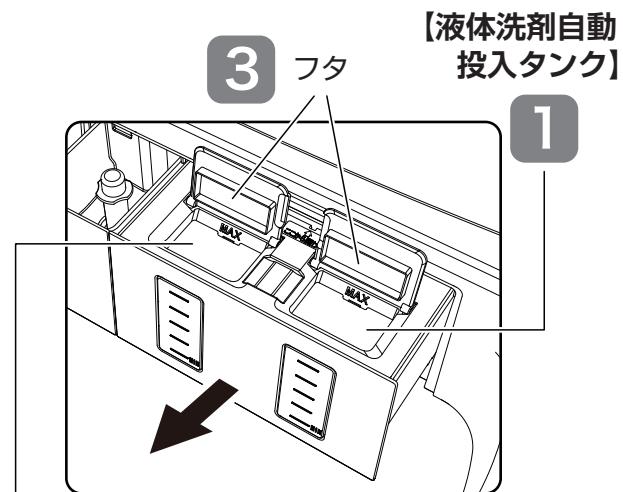
- 取付を確実にしないと、正しく洗剤、柔軟剤が投入されません。

お願い

- 洗剤、柔軟剤は右下図の最低目盛り以下になる前に早めに補充してください。
- 固まつたり分離した洗剤、柔軟剤は使用しないでください。
- 長期間使用しない場合は自動投入タンクを空にしてください。また、以下の場合には、自動投入タンク、経路のお手入れをしてください。
(☞ 26 - 27ページ)
 - ・3か月ごと
 - ・洗剤や柔軟剤の銘柄を替えるとき
 - ・1か月以上使用しなかったとき

お知らせ

- 「おしゃれ着」コースでは、洗剤の自動投入は、行わない設定になっていますので、手動投入で洗濯してください。(☞ 14 - 15 ページ)
- 最初から洗濯・脱水槽に水があるときは、水量によっては自動投入をしない場合があります。



自動投入の基準値を設定する

■ ご使用になる洗剤、柔軟剤の1回の自動投入量（基準値）を設定します。洗剤と柔軟剤、それぞれに設定が必要です。



柔軟剤の基準量の設定

洗剤の基準量の設定

1 切/入 を押す

- 電源を入れます。

2 柔軟剤 を5秒以上押す

- 残り時間表示部に 10(mℓ) と表示されます。

3 すぎ、脱水 を押し、お使いの柔軟剤の容器に表示されている水30Lに対する基準値（使用量mℓ）を設定する

- 3～30(mℓ) の範囲で設定できます。

4 柔軟剤 を押す

- ピッと鳴り、標準で自動投入が設定されます。

1 切/入 を押す

- 電源を入れます。

2 洗剤 を5秒以上押す

- 残り時間表示部に 10(mℓ) と表示されます。

3 すぎ、脱水 を押し、お使いの洗剤の容器に表示されている水30Lに対する基準値（使用量mℓ）を設定する

- 3～30(mℓ) の範囲で設定できます。

4 洗剤 を押す

- ピッと鳴り、標準で自動投入が設定されます。

代表的な洗剤、柔軟剤の基準量（水30Lに対する使用量）

柔軟剤の種類	基準値 (mℓ)
ハミング	20
レノア	16
ハミング消臭実感 ソフラン アロマリッチ	10
ふんわりソフラン	7
ハミング消臭実感 自動投入に専用	5

洗剤の種類	基準値 (mℓ)
アリエール アタック	30
トップ クリアリキッド ニュービーズ	25
アタック ZERO ナノックス ONE	10
ナノックス 自動投入専用	6

※ 2025年7月現在

※ 左記にない場合は、洗剤容器に表示されている水30Lに対する使用量を設定してください。

自動投入の準備

自動投入量を変更する

柔軟剤の自動投入量を変更する

1

切/入 を押す

- 電源を入れます。

柔軟剤 を押して、「標準」、「多め」または「少なめ」のランプを点灯させる

2

- ご希望の投入量のランプが点灯するまで何回か押します。
 - 押すごとに、以下のように切換わります。
- | | | | | | | |
|----|---|----|---|-----|---|------|
| 標準 | → | 多め | → | 少なめ | → | (消灯) |
| ↑ | | | | | | |

- 「多め」は「標準」の約 1.5 倍の柔軟剤を投入します。「少なめ」は「標準」の約 0.8 倍の柔軟剤を投入します。

洗剤の自動投入量を変更する

1

切/入 を押す

- 電源を入れます。

洗剤 を押して、「標準」、「多め」または「少なめ」のランプを点灯させる

2

- ご希望の投入量のランプが点灯するまで何回か押します。
 - 押すごとに、以下のように切換わります。
- | | | | | | | |
|----|---|----|---|-----|---|------|
| 標準 | → | 多め | → | 少なめ | → | (消灯) |
| ↑ | | | | | | |

- 「多め」は「標準」の約 1.2 倍の洗剤を投入します。「少なめ」は「標準」の約 0.8 倍の洗剤を投入します。

自動投入をやめるには

切/入 を押し、柔軟剤 または 洗剤 を消灯するまで何回か押す

- 洗剤、柔軟剤、両方とも手動投入する場合は、どちらとも消灯してください。
- 洗剤、柔軟剤は手動で投入してください。
- 一度自動投入しない設定にすると、記憶され、次回も初期状態は自動投入しない設定になります。

「多め」 「標準」 「少なめ」	いずれか点灯	洗剤、柔軟剤の点灯している量で自動投入できます。
すべて消灯		自動投入できません。(手動投入になります)

自動投入経路に洗剤・柔軟剤を補充する

以下の状況が発生した場合、自動投入経路の洗剤補充操作を行ってください。

- 初めて洗剤自動投入を使うとき
- 洗剤を補充せずに洗濯したとき
- 自動投入経路・タンクを掃除したとき

1

切/入 を押す

- 電源を入れます。

2

水量 と **柔軟剤** または

水量 と **洗剤** を同時に3秒押す

- 柔軟剤・洗剤を経路に補充する

3

柔軟剤 または **洗剤** ランプが点滅し、自動的に10秒補充する

- 柔軟剤・洗剤が垂れる可能性がありますが、故障ではありません。

4

補充完了

- 電源を入れた状態に戻ります。

洗濯物の確認と準備

洗濯物の準備

衣類の前処理

● ポケットの中を確認

お金やメモ紙などがないか確認、とくに硬貨やヘアピンなど注意して取り除いてください。

● 衣類のひもは結ぶ・ファスナーは閉める

洗濯物の絡みや傷みの原因になります。

● ひどい汚れの前処理

しみやひどい部分汚れは、事前に洗剤をつけ、ブラシなどで一定方向にこすりとることが効果的です。放置すると汚れが取れにくくなります。

● 大きなゴミをとる・砂や泥はとる

大きなゴミ、髪の毛やペットの毛などは取り除いてください。砂や泥もよく払ってください。

● 毛玉の付きやすいものは裏返す

毛玉の付きやすい衣類は裏返すと、洗濯中のこすれが少なくなります。

洗濯物の重さの目安

	肌着類	シャツ・ズボン類	タオル・寝具類
50g			
100g	ブリーフ 靴下		
200g	肌着	ワイシャツ	
300g			
400g	パンツ	スカート	
500g		シーツ	
800g	作業着上下(混紡)		

洗濯できるもの・できないもの



洗濯できるものは、洗濯コースによって異なります。

次の取扱絵表示が付いているもの



家庭での洗濯禁止の表示



石油系溶剤のドライクリーニング表示

※ 取扱絵表示および素材表示のないものは洗濯できません。

どのコースでも洗えないもの

変色・かたくずれ・傷みの原因

- 絹・レーヨン・キュプラ、それらの混紡品
- 和服・和装小物品

かたくずれするもの・毛倒れの原因

- ネクタイ・スーツ・コート
- 皮革・毛皮・羽製品およびそれらの装飾付のもの
- ベルベットなどのパイル地製品

傷み・故障の原因

- 裏面にゴムが付いている玄関マットなど敷物類
- 防水性製品
- コーティング加工・樹脂加工・エンボス加工品
- 強撚糸(強くねじった糸)を使用した製品
- わた・スポンジの座布団・枕・クッションなど

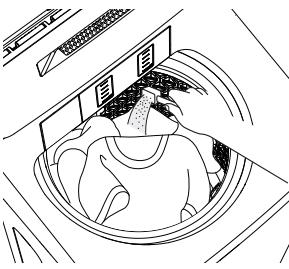
洗剤・柔軟剤（漂白剤・粉石けん）の手動投入について

洗剤の入れかた

■ 粉末合成洗剤

水量（洗剤量目安）に応じて、洗剤を直接洗濯槽に入れる

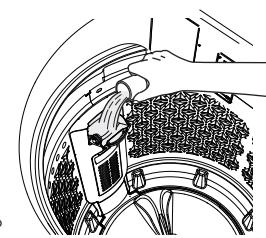
- 洗剤をよく溶かすために給水の水が流れる場所に直接洗剤を投入してください。
また、洗剤は溶けやすいものをお選びください。
 - ふたがロックされている場合は、一旦停止ボタンを押すと、ふたを開けることができます。
 - 予約洗濯を行う場合は、粉末合成洗剤を白もののハンカチなどに包み、直接洗濯物にからなりように入れます。長時間洗濯物に洗剤が触れると変色や脱色が発生する場合があります。
- ※ 予約洗濯では液体洗剤をおすすめします。



■ 液体洗剤

糸くずフィルター上部にある洗剤投入口を開いて投入する

- 洗剤投入ケース左側のキャップは確実に押し込んでください。キャップのつばより上まで液体洗剤を入れないでください。入れすぎると洗剤投入の途中で洗濯槽へ流れ出ます。
- 液体洗剤投入部はサイフォン構造のため、少量の水が残ります。洗剤投入前に、この水を取り除いてください。

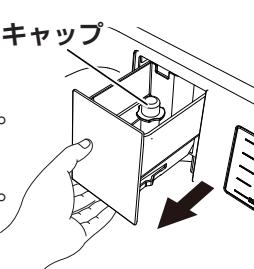


柔軟剤の入れかた

■ 柔軟剤

柔軟剤投入ケースに入れる キャップ

- 柔軟剤投入ケースのキャップは確実に押し込んでください。キャップのつばより上まで柔軟剤を入れないでください。入れすぎると柔軟剤投入の途中で洗濯槽へ流れ出ます。
- 予約洗濯時など、柔軟剤を12時間以上入れたままにしないでください。固まってしまうことがあります。
- 柔軟剤を入れたあと、柔軟剤投入ケースは元の位置まで確実に閉めてください。

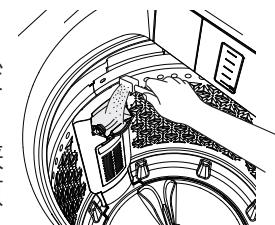


漂白剤の入れかた

■ 粉末漂白剤

糸くずフィルター上部にある洗剤投入口を開いて投入する

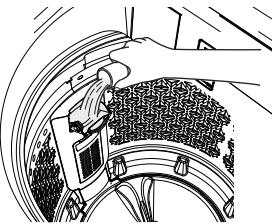
- 洗剤投入口のカバーは最後までしっかりと閉めてください。
すき間があると洗濯物が挟まったり、外れたりする原因になります。
- カバーは無理に外さないでください。
破損の原因になります。



■ 液体漂白剤

糸くずフィルター上部にある洗剤投入口を開いて投入する

- 洗剤投入口のカバーは最後までしっかりと閉めてください。
すき間があると洗濯物が挟まったり、外れたりする原因になります。
- カバーは無理に外さないでください。
破損の原因になります。
- 液体漂白剤は2倍の量に薄めてから投入してください。



粉石けんの入れかた

ぬるま湯（約5L・約30°C）に、粉石けんをかき回しながら、少しづついれる
(溶け残り、固まりを防ぐ)

- 粉石けんを使用した場合・十分にすすぎを行ってください。
粉石けんは、洗濯物に残りやすく、黄ばみやニオイが発生しやすくなります。
- 粉石けんを入れすぎないように注意してください。使用量が多くすぎたり、水温が低いと、完全に溶けずに衣類に残ったり、ホースや洗濯・脱水槽に付着して、後ではがれ、洗濯物を汚すことがあります。



その他のご注意

■ 重曹

- 使用しないでください。(故障の原因になります)

■ ジェル状タブレット型洗剤、タブレット・キューブ型洗剤

- 使用方法の記載に従ってご使用ください。

洗剤などを入れるタイミング

- 重曹は使用しないでください。
故障の原因になります。
- 洗剤、柔軟剤を投入した後は、洗剤投入ケースを奥まで確実に収納してください。
- ジェル状タブレット型洗剤、タブレット・キューブ型洗剤、ビーズ状仕上げ剤は使用方法の記載に沿ってご使用ください。
手動投入口には入れないでください。

1 洗濯物を入れる ふたを閉める

電源を入れ、コースを選び、
 押す

2

● パルセーターが回転し、洗濯物の量が自動的に計測されます。
あらかじめ水が入っている場合や、「おいそぎ」「おしゃれ着」「毛布」コースを設定した場合は、洗濯物の量は自動計測されず、水量が表示されます。

3 表示水量と下の表を参照し、ふたを開け、 洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れる

4 ふたを閉めると洗濯が始まる

点灯しているときは右側、点滅しているときは左側の数字が水量です。



水量

ランプが点灯もしくは点滅します。

使用量の目安

設定水量に対する使用量		洗剤										柔軟剤			漂白剤		
		粉末		液体				おしゃれ着専用	柔軟剤								
洗濯量 (目安)	水量	アタック	トップ	ナノックス	アタックZERO	アリエール	アタック		トップ	ニュービーズ	ナノックス	アクロール	ソフラン	レノア	ハミング	ハミング	
				Zone											濃縮タイプ	消臭実感	
7.0 ~ 3.0 kg	50L	30 g	42 g	17 mL	40 mL	10 mL	—	17 mL	27 mL	17 mL	8 mL	33 mL			ブライストロング		ワイドハイターEX
	43L	26 g	36 g	14 mL	34 mL	9 mL	57 mL	14 mL	23 mL	14 mL	7 mL	29 mL					
3.0 ~ 1.5 kg	37L	22 g	31 g	12 mL	30 mL	7 mL	—	12 mL	20 mL	12 mL	6 mL	25 mL					
	31L	19 g	26 g	10 mL	25 mL	6 mL	—	10 mL	17 mL	10 mL	5 mL	21 mL					
~ 1.5 kg	24L	14 g	20 g	8 mL	19 mL	5 mL	—	8 mL	13 mL	8 mL	4 mL	16 mL					
	18L	11 g	15 g	6 mL	14 mL	4 mL	—	6 mL	10 mL	6 mL	3 mL	12 mL					

- 液体洗剤や柔軟剤は洗剤メーカー・銘柄で使用量の目安が異なります。本表は使用水量に対する投入量を目安として記載しています。濃度の違いにより、投入するとケースからあふれる場合もある銘柄もあるため、洗剤の選択にあたり、洗剤容器に表示されている「使用量の目安」をご確認ください。

- 洗剤は入れすぎないようにしてください。すすぎが不十分になり、衣類に残る場合があります。

コースについて

記載ページ	洗い方	コース	所要時間の目安	最大容量	+機能			自動投入		
					洗濯	香&消臭	2度洗い	部屋干し(5kg)	柔軟剤	洗剤
18	ふだんの洗濯	標準	42分 (37分~44分)	7kg	○	○	○	○	多め 標準 少なめ なし	多め 標準 少なめ なし
18	汚れの少ない衣類を急いで洗うとき	おいそぎ	15分 (15分~23分)	2kg	×	×	○	○	多め 標準 少なめ なし	多め 標準 少なめ なし
18	頑固な汚れに(洗剤の力を最大に發揮し洗う)	つけおき	69分 (66分~75分)	7kg	○	○	○	○	多め 標準 少なめ なし	多め 標準 少なめ なし
18	頑固な汚れの衣類を洗うとき	念入り	52分 (46分~55分)	7kg	○	○	○	○	多め 標準 少なめ なし	多め 標準 少なめ なし
18	自分で作った洗濯コースで洗うとき	自分流	-	7kg	○	○	○	○	多め 標準 少なめ なし	多め 標準 少なめ なし
21 ↓ 22	デリケートな衣類を洗うとき	おしゃれ着	40分	1kg	×	×	×	×	多め 標準 少なめ なし	多め 標準 少なめ なし
22 ↓ 23	毛布やふとんなどを洗うとき	毛布	69分	3.5kg	×	×	×	×	多め 標準 少なめ なし	多め 標準 少なめ なし
25	洗濯槽・脱水槽・パルセータをさっと洗う	槽洗浄1	10分間槽洗浄：ちょっと汚れが気になるときに(水量：18L)							
	定期的に洗濯・脱水槽を洗浄	槽洗浄2	4時間槽洗浄：1か月1回の定期槽洗浄(水量：50L)							
	洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるとき	槽洗浄3	12時間槽洗浄：においや汚れが気になったとき(水量：50L)							

- 表で「×」は設定不可です。
- コースを選んでスタートすると、自動的に [] に設定されます。
- 所要時間は目安です。洗濯物の量や種類によって変わります。
- () 内はお好み設定できる範囲を表します。
- ※洗い時間は水量に対する目安時間です。() 内の洗い時間に変更できます。

お好みの設定

その他

水量

洗い

すすぎ

脱水

予約

43L 50L
31L 37L
18L 24L
洗濯量検知12分 (31L~50L)
9分 (18L、24L)
(0分~15分)注水2回ため1回
ため3回
注水1回ため1回
ため2回
注水1回
シャワー・ため1回8分
(0分~9分)43L 50L
31L 37L
18L 24L6分 (31L~50L)
3分 (18L、24L)
(0分~15分)注水1回ため1回
ため2回
注水1回
ため1回4分
(0分~9分)43L 50L
31L 37L
18L 24L
洗濯量検知35分 (43L、50L)
32分 (18L~31L)
(23分~35分)注水2回ため1回
ため3回
注水1回ため1回
ため2回
注水1回
ため1回8分
(0分~9分)43L 50L
31L 37L
18L 24L
洗濯量検知15分 (31L~50L)
12分 (18L、24L)
(0分~15分)注水2回ため1回
ため3回
注水1回ため1回
ため2回8分
(0分~9分)43L 50L
31L 37L
18L 24L
洗濯量検知

(0分~15分)

注水2回ため1回
ため3回
注水1回ため1回
ため2回
注水1回
シャワー・ため1回

(0分~9分)



43L

6分

注水1回ため1回
ため2回4分
(0分~9分)

50L

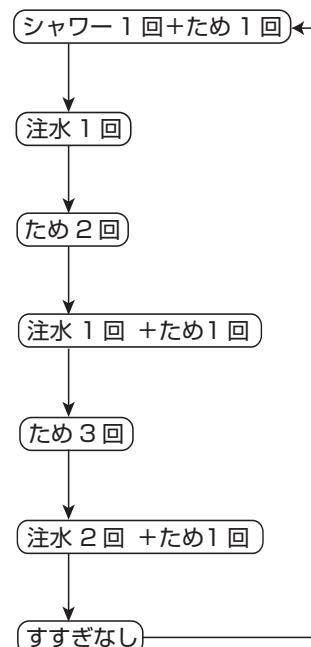
25分

注水2回ため1回
ため3回
注水1回ため1回
ため2回8分
(0分~9分)

すすぎの種類

- **シャワーすすぎ**
槽を回転しながら、シャワーのように水をかけ、すすぎます。
- **ためすすぎ**
水をためてすすぎます。
- **注水すすぎ**

給水と排水を同時にを行い、常に水を入れ替えながら、すすぎます。



● 初期設定の所要時間は目安です。水道圧の違いによる給水時間や排水時間などにより、実際の時間は変化します

● 残時間の表示も実際の運転により、変化します。たとえば、脱水時に洗濯物が片寄ると、運転で大きな振動が発生したり、洗濯物を傷めたりする可能性があるため、片寄を補正する動作を行います。その結果、運転時間が長くなることがあります。残時間表示は追加され多くなります。

+機能

(☞19-20ページ)

香&消臭：柔軟剤のパワーを最大限に発揮させる機能です。

2度洗い：本洗いの前に予洗いを追加します。

部屋干し：最終脱水時に15分の脱水工程を追加します。

洗濯のしかた

標準・おいそぎ・つけおき・念入りコース

※表示の両側のランプやボタンの上のランプが点灯していると設定状態です。



使いかた

1

衣類の仕分け・前処理 (☞ 13 ページ)

水栓を開ける

洗濯物を入れる

ふたを閉める

2

電源を入れる

切/入

を押す

3

コースを選ぶ

コース

を押し目的のコースを選ぶ

最初の設定は標準コースになっています。

お好みの設定をする (☞ 16 - 17、19 ページ)

4

スタートする

スタート
一時停止

を押す

自動投入が設定されている場合は、スタートボタンを押すと洗濯物の量を検知後、給水され洗いが始まります。

5

洗剤を入れる
(手動投入の場合)

洗剤

を押す

ふたを開けて、表示目安に合わせて (☞ 15 ページ) 洗剤を投入後ふたを閉めると洗いが始まります。必要なら柔軟剤も入れてください。

6

洗濯完了

ブザーが鳴り、洗濯終了。

洗濯物を取り出す

水栓を閉める

お手入れする (☞ 25 - 29 ページ)

自分流コース

■自分で 水量 洗い すすぎ 脱水 柔軟剤 洗剤 +機能 を設定できるコースです。

一度設定したコースは記憶され、次回も同じ設定でご使用いただけます。

設定内容を変更したいときは、新しくお好みの設定を行ってください。上書き設定されます。

上に表示した、操作手順 3 で「自分流」のコースを選び以下の操作をしてください。

3

コースを選ぶ

コース

を押し「自分流」を選ぶ

最初の設定は標準コースになっています。

自分流の設定をする

水量

洗い

すすぎ

脱水

柔軟剤

洗剤

+機能

を押して、運転内容を設定する

自分流の設定後の操作は 4 以下 (スタートする) と同じです。

※自分流の設定後洗濯がスタートすると内容が記憶され、次回も使用できます。

お好みの設定

■洗濯コースを選択したあとに、水量・洗い・すすぎ・脱水の設定を変更できます。

水量 ボタンを押すと表示部に 37L ランプが点灯します。その後、押すごとに 43L → 50L → 18L → 24L → 31L → 37L → 43L…と設定を変更できます。

洗い ボタンを押すと、表示部に 12 分が表示されます。その後、押すごとに 15 分 → 0 分 → 3 分 → 6 分 → 9 分と設定を変更できます。

すすぎ ボタンを押すごとに、すすぎの回数と方法の変更ができます。

■ **シャワーすすぎ**：槽を回転しながら、シャワーのように水をかけます。

※標準コースと自分流コースのみシャワーすすぎを行います。

■ **ためすすぎ**：槽に水をためてすすぎます。

■ **注水すすぎ**：給水と排水を同時にを行い、常に水を入れ替えながらすすぎます。

標準コース・自分流コース



(表示例)



(表示例)

柔軟剤の効果を保証するため、すすぎ回数が2回以上の場合、最後のすすぎ工程では注水すすぎを実行しません。各コースのすすぎ方法は、17 ページのすすぎの欄を参照願います。

脱水 ボタンを押すごとに、脱水の時間を0分(脱水無し)、3分～9分まで変更できます。

※【洗い】【すすぎ】【脱水】すべての設定をなくすることはできません。

個別の設定

■洗い・すすぎ・脱水のみを個別で使用するときの設定です。

標準コース、または自分流コースで単独で設定したいボタンを3秒間長押しすると、押したボタンの上のランプだけが点灯し、設定内容が表示されます。他のボタンの上のランプは消灯し、単独での設定になります。



※脱水ボタンを押し、脱水だけ3分に設定した例
(脱水ランプだけが点灯)

+機能

■「+機能」は「香&消臭」「2度洗い」「部屋干し」の3種類の機能を洗濯コースにプラスして設定できます。 (☞16ページ)

香&消臭

柔軟剤の効果を最大化する機能です。

香りをつける柔軟剤では、最後のすすぎで柔軟剤が入った後につけおきをおこなうことで、しっかり香り付けができます。同様に消臭系の柔軟剤の場合は最終すすぎでつけおきをおこなうことで、しっかり消臭効果を出すことができます。

※柔軟剤や衣類の種類によって効果は変わります。

洗濯のしかた (つづき)

2度洗い

汚れ移りを抑えて洗う機能です。

本洗いの前に、サッと予洗いを実施します。予洗い後に汚れた洗濯液を排水し、再度給水・洗剤投入することで、汚れ移りを抑えます

部屋干し

最終脱水時に15分の脱水工程を追加し、脱水槽の遠心力と通風口から取り込んだ空気で衣類の水分を飛ばし、風で乾燥させる機能です。

通風口はふたにあります。ふたの上に物を置くと乾き具合が異なる場合があります。

使いかた

予約して洗濯する

■洗濯終了までの時間を、1～24時間までの範囲で設定できます。

ただし、洗濯時間より短い時間は設定できません。たとえば出かける前に洗濯終了時間を設定しておけば、帰宅したときまでに洗濯を終了させることができます。

1

衣類の仕分け・前処理
水栓を開ける
洗濯物を入れる
ふたを閉める

2

電源を入れる

切/入

3

コースを選ぶ

コース

4

予約をする



5

スタートする

6

洗剤を入れる
(手動投入の場合)

7

洗濯完了

洗濯物を取り出す
水栓を閉める/お手入れする
(☞25-29ページ)

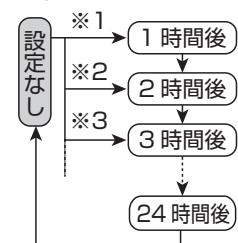
予約

を押すごとに、予約終了時間の設定が1時間単位で変更できます。洗濯時間により最初の表示が変わります。例えば毛布コース(所要目安時間1時間9分)は、洗濯終了までに1時間以上要するため、最短表示時間は2時間になります。

● ご注意

洗濯物の量、水道水圧、排水状況などで運転時間は変動します。表示された残り時間は目安としてお使いください。

	洗濯時間	最初の表示
※1	44分以内	1(時間後)
※2	45分～1時間44分	2(時間後)
※3	1時間45分～ 2時間44分	3(時間後)
⋮	⋮	⋮



例) 13時間後に設定した場合



● 予約時間が点灯し、予約ランプが点滅します。

● 設定した内容の確認

予約中に を押します。選択したコースの設定内容が表示されます。

● 設定した内容の取り消し、または設定した内容の変更

を押して、電源を切れます。設定を変更したい場合は、もう一度電源を入れ再設定してください。

● 色移りしやすい衣類は、一緒に予約洗濯しないでください。

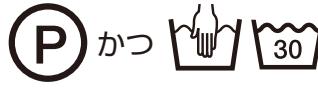
● 電源プラグを抜いたときや、停電したときは予約設定が取り消されます。

おしゃれ着コース・・・洗濯物は1kgまで

- 1 衣類の仕分け・前処理 (☞ 13 ページ)**
水栓を開ける
洗濯物を入れる
 - 2 洗剤を入れる**
おしゃれ着用液体中性洗剤を投入する
水量 43L 時の使用量の目安に合わせて
(☞ 15 ページ)
洗剤を洗剤投入口に入れてください。
(☞ 14, 15 ページ)
 - 3 ふたを閉める**
 - 4 電源を入れる**
切/入 を押す
 - 5 コースを選ぶ**
コース を押しおしゃれ着コースを選ぶ
最初の設定は標準コースになっています。
 - 6 お好みの設定をする**
(☞ 16-17, 19 ページ)
 - 7 スタートする**
スタート一時停止 を押す
- おしゃれ着コース**

洗濯の最大容量は1kgまでです。多めの水量でデリケートな衣類や、ドライマーク衣類を優しく洗うコースです。

洗えるのは以下の表示



おしゃれ着コースで洗えないもの

おしゃれ着コースで洗える表示があっても以下のものは洗濯できません。

- 皮革製品・皮革装飾のあるもの
- 羽・毛皮などの装飾のあるもの
- 絹・レーヨン・キュプラおよびその混紡品
(裏地として使用しているものも不可)
- スーツ・コート・ネクタイなどの型崩れしやすいもの
- コーティング加工・樹脂加工(接着剤を使用したもの)・エンボス加工を施したもの
- ちりめんなどの強くよじった糸(強撚糸)を使用したもの
- ベルベットなどのパイル地など
- 防水加工品(スキーウェアなど)
- 色落ちしやすいもの
- 取扱い絵表示および素材表示のないもの

準備と使用する洗剤について

おしゃれ着コース洗濯の準備

- シミがあるときは、裏側にタオルをあて、洗剤をつけてタオルなどで軽く押さえます。
- 汚れやすい襟、袖口などは洗剤をつけてブラシなどで軽くたたいて落としておきます。
- ボタンや刺繡の付いている衣類は裏返しにします。
- ボタンやファスナーは閉めてください。
- 色落ちしそうな衣類は、白いタオルなどに洗剤を含ませ、目立たないところに押し当てて、色落ちを確認してください。色落ちするものは洗わないでください。

使用する洗剤

● おしゃれ着用液体中性洗剤(毛・絹用)

液体洗剤以外は使用しないでください。

粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

漂白剤は使用しないでください。

強アルカリ性のため、衣類を傷めるおそれがあります。

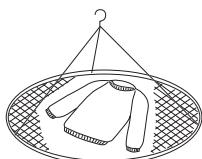
洗濯のしかた (つづき)

衣類の干しかた

風通しの良い日陰に干してください。

● ウール、アンゴラ、カシミヤなどのセーター

形を整えて裏返して、平干しをしてください。



● 学生服、ブラウスなど

形を整えてハンガー干しをしてください。
ハンガーにタオルを巻いて、肩幅に合わせて
干していただくと、型崩れしにくくなります。

● スラックス、スカート

形を整えてハンガー干しをしてください。伸び
やすいものは、平干しをしてください。

仕上げかた

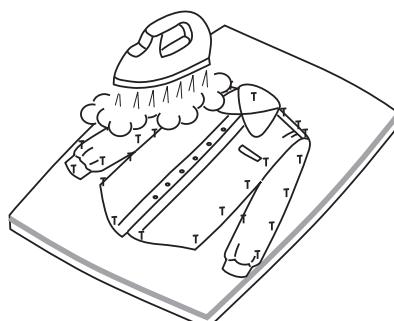
● スチームアイロンで形を整える

スチームアイロンを浮かせた状態でスチームを
かけ、形を整えます。

● 縮んでしまった場合

衣類を元の寸法に広げてまち針を打ち、スチー
ムアイロンを浮かせた状態で、スチームをたつ
ぱりかけ、そのままの状態で乾燥させます。

※洗濯前に型紙を取っておくと便利です。



毛布コース・・・洗濯物は3.5kgまで

1 衣類の仕分け・前処理 (☞ 13 ページ)
水栓を開ける
洗濯物を入れる

2 洗剤を入れる
(手動投入の場合) 水量 50L 時の使用量の目安に合わせて (☞ 15 ページ)
洗剤、必要なら柔軟剤も入れてください。

3 ふたを閉める
電源を入れる 切/入 を押す

4 コースを選ぶ コース を押し「毛布コース」を選ぶ

5 お好みの設定をする
(☞ 16-17、19 ページ)
スタートする スタート
一時停止 を押す 給水され洗濯が始まります。

6 洗濯完了 ブザーが鳴り、洗濯終了。
洗濯物を取り出す
水栓を閉める
お手入れする (☞ 25 - 29 ページ)

洗い方のコツ・干し方

- 汚れがひどい部分はあらかじめ手でもみ洗いをします。
- ぬるま湯（約30℃）で洗うと汚れ落ちがよくなります。
- 干すときは、風通しの良いところで、自然乾燥させます。
- 干すときは、形を整えたり、時々裏返すと、きれいに仕上がります。

毛布コースで洗えるもの

毛布



シングルサイズ（綿100%）
(総重量3.5 kg以下) 3枚まで
大きさ140×200cm



シングルサイズ（化繊）
(総重量2.4 kg以下) 2枚まで
大きさ140×200cm

- 手洗いでき、洗濯機で洗えるとの表示があるもの
- 電気毛布（洗濯できる電気毛布）は、製品の取扱説明書にしたがってください。

洗濯できないもの

- ウールやカシミヤ素材のもの

毛布の洗いかた

● 化繊毛布を1枚（1.5kgまで）・綿毛布2枚（2.4kgまで）を洗う場合

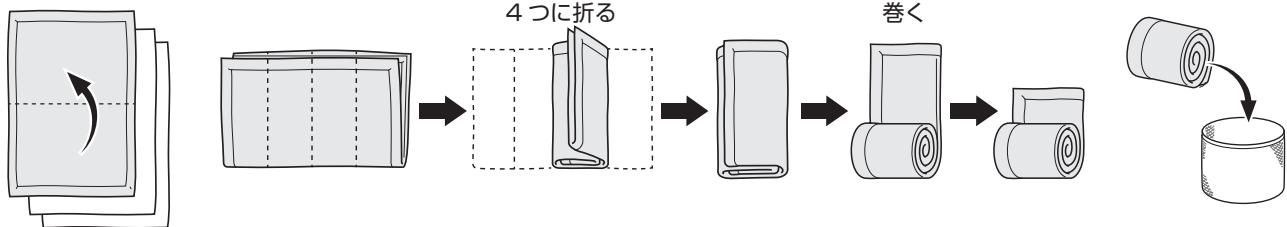
化繊毛布1枚や綿毛布2枚を選択する場合は、そのまま洗濯槽に入れてください。洗濯ネットに入れると、片寄って洗えない場合があります。毛布はできるだけ洗濯槽の下の方に平らになるように入れてください。

● 化繊毛布を2枚（2.4 kgまで）・綿毛布3枚（3.5 kgまで）を洗う場合

化繊毛布2枚、綿毛布3枚をまとめて洗う場合は、洗濯ネットに入れると、出し入れがしやすくなります。入れ方は下の図のようにしてください。

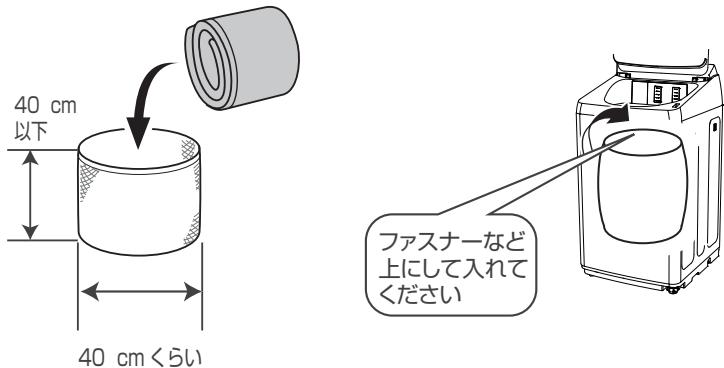
● 洗剤は液体洗剤を使ってください。粉末洗剤は洗剤が残る場合があります。

（ネットを使用する場合の毛布の入れかた） ※重ねて洗濯する場合は同じ材質に限ります。



2枚または3枚重ねて
長い方を2つ折りにする

洗濯ネットに入れるとき、余裕があれば
できるだけ中心を開けてください。



便利な使いかた

のり付け・・・のり付けできる衣類の量：500 g以下

1

のり付けしたい衣類を入れる
水栓を開ける
ふたを閉める
電源を入れる  を押す

2

標準コースで    に設定

3

洗剤・柔軟剤自動投入をオフにし、
スタートする  を押す

4

給水が終了し洗濯が始またら一時停止し、洗濯のりを入れる。
ふたを閉め、再スタートする

5

のり付け後は【水量 50L】で【洗い 6 分】【脱水 3 分】の運転をしてください。
のりが残ると故障の原因になります。

終了時の電子音の設定

■ 初期設定「電子音あり」ですが、終了音を消すことができます。

1

電源を入れる  を押す

2

 を押しながら、 を 5 秒以上押す

ピットと音が鳴り、消音の設定が完了します。電源を切っても、設定は記憶されます。

● 終了音ありにするときは、同じ手順で設定できます。

お手入れ

槽乾燥（洗濯・脱水槽を乾燥する）

- 1 洗濯物を入れずに、ふたを閉め、
切/入 を押す
- 2 +機能 を3秒長押しして
表示部に「30分」と表示されます。

- 3 スタート一時停止 を押す

- 槽乾燥が終了すると、電子音でお知らせし、電源が切れます。

槽洗浄（洗濯・脱水槽を洗う）

■洗濯機は使用期間が長くなると、洗濯・脱水槽に汚れや黒カビが発生することがあります。

下の表を目安に槽洗浄を行ってください。

- 1 水栓を開ける
ふたを閉める
電源を入れる
切/入 を押す
- 2 コース を押し、槽洗浄コースを選択する
10分・4時間・12時間から選択する
4時間、12時間槽洗浄を行う場合は、衣類用の塩素系漂白剤を準備してください。
10分槽洗浄は、洗濯槽内の残留洗剤成分や、汚れをさっと洗い流すコースです。
水洗いのみのため、塩素系漂白剤を入れる必要はありません。
- 3 スタートする
スタート一時停止 を押す ※洗剤は入れないでください。
給水が終了すると、ピピピとお知らせ音が鳴ります。
- 4 ピピピとお知らせ音が鳴ったら、ふたを開けて、市販の衣類用の塩素系漂白剤を洗濯・脱水槽に入れる
ふたがロックされた後に漂白剤を入れる場合は スタート一時停止 を押し、一時停止してから投入してください。
4時間、12時間は、ふたを開けて衣類用の塩素系漂白剤 300mlを入れる。
- 5 ふたを閉める
- 6 洗浄終了 ブザーが鳴って洗浄終了

水栓を閉める

コース	槽洗浄 10分	槽洗浄 4時間	槽洗浄 12時間
所要時間			
こんなときに	ちょっと汚れが気になるとき	1か月に一回の定期的なお手入れに	匂いや汚れが気になるときに

漂白剤ご使用時のご注意

- 市販の漂白剤の説明書をよくお読みいただきご使用ください。
- 衣類は入れないでください。
- 連続して、槽洗浄運転を行わないでください。故障のおそれがあります。
- 汚れがひどい場合や黒カビが発生したなどの場合は、市販の衣類用の塩素系漂白剤の替わりに市販の洗濯槽クリーナーをご使用ください。

お手入れ (つづき)

本体・槽の清掃

本体の清掃

- よく絞ったやわらかい布で拭く

汚れが落ちにくい場合は薄めた中性洗剤でふき取ってください。さらによく水拭きし、最後に乾いた布で拭いてください。

- 化学ぞうきんを使うときは、注意書きに従ってください。

ステンレス槽のサビの対応

- 市販のクリームクレンザーをスポンジにつけてサビを取り除く

金属たわしなどは使わないでください。表面を傷つけ、さびやすくなります。

- イオウ成分の入った入浴剤入り風呂の残り湯は使わないでください。

- ヘアピンなどのさびやすい鉄製品を洗濯槽に入れたままにしないでください。



- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。またぬれた手で抜き差ししない
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどは使用しない

自動投入タンク・経路の清掃

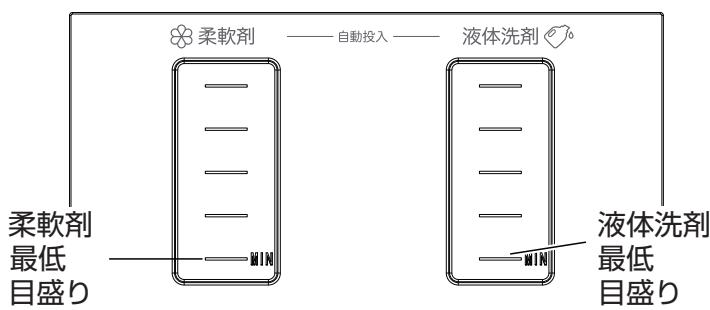
- 以下の場合には、①自動投入タンク、②投入口、③投入経路のお手入れが必要です。

- ・ 3か月ごと
- ・ 洗剤や柔軟剤の銘柄を替えるとき
- ・ 1か月以上使用しなかったとき

清掃時のご注意

- 洗剤や柔軟剤はできるだけ最低目盛り以下になるまで使い切ってください。洗剤や柔軟剤が入ったまま自動投入タンクを取り出ると、多量に液だれします。

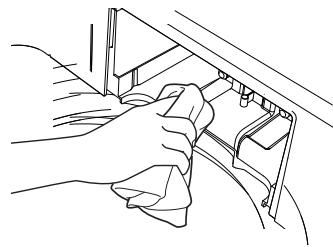
- 洗剤や柔軟剤が残った状態でお手入れが必要なときは、洗剤、柔軟剤は廃棄してください。



挿入口内部の清掃

挿入口内部に残った洗剤などの汚れを拭き取る

汚れがひどいときは、お湯(約40°C以下)を使い、布や、歯ブラシなどで、汚れを落としてください。



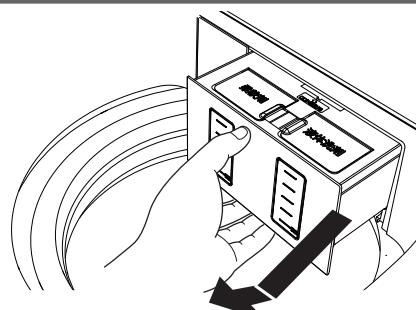
ジョイント部分にはできるだけ触れないようにしてください。



自動投入タンクの清掃

1 自動投入タンクを取り出し洗浄する

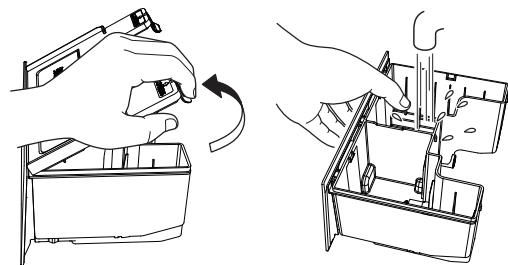
残った洗剤・柔軟剤の液だれに注意してください。自動投入タンクの底に残った洗剤や柔軟剤は廃棄してください。



2

フタを外し洗浄する

自動投入タンクとフタをぬめりが取れるまで洗う（ぬるま湯に約30分ほどつけておくとぬめりが取れやすくなります。）

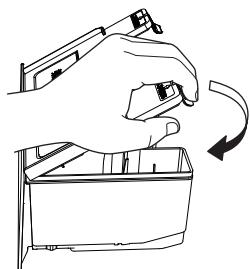


3

自動投入タンクのフタを閉じる

自動投入タンクのフタを元の通りにする。

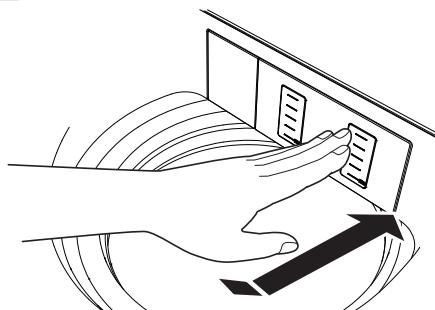
※フタは確実に閉めてください。



4

洗浄した自動投入タンクを収納する

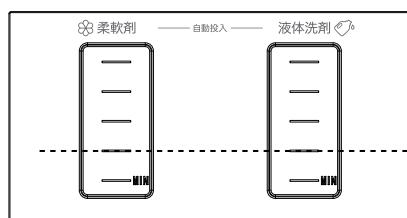
自動投入タンクを奥まで確実に収納する。

**自動投入経路の清掃**

1

自動投入経路の掃除は、洗剤・柔軟剤自動投入タンクの掃除時に同時に行うことをおすすめします。

自動投入タンクを洗った後、洗剤・柔軟剤の両方のタンクのしたから二番目のメモリ（約100mL）まで、約40°Cのお湯を入れて、タンクの元の位置に収納します。



約40°Cのお湯をここまで入れて、自動投入タンクをセットする。

2

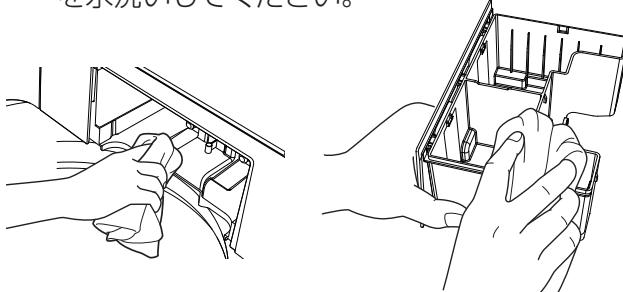
フタを閉めて、電源が「切」になっていることを確認してください。

- ①洗剤、また柔軟剤のどちらかのボタンを押しながら、電源ボタンを2秒間長押しする。
- ②表示部に「10分」と表示されたら、スタートボタンを押して運転を開始する。
- ③約10分後に電子音がなり、運転終了する。

3

自動投入タンクを取り出し、残水を捨てて水分を拭き取ります。

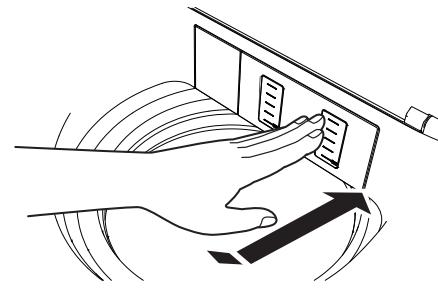
※クエン酸を入れたときは、自動投入タンクを水洗いしてください。



4

自動投入タンクを元に戻す

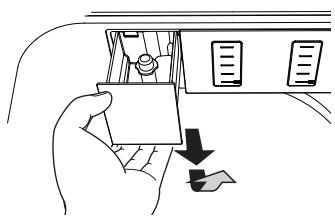
奥まで確実に収納します。



お手入れ (つづき)

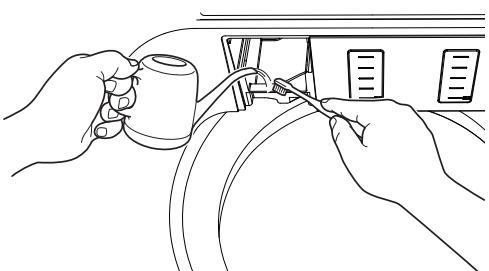
柔軟剤投入ケース

- ① 柔軟剤投入ケースをはずす
手前に引きだしてから、斜め上に引き抜きます。

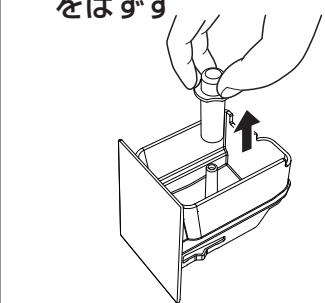


- ② 柔軟剤投入ケース挿入口内部の掃除

まわりに水がかからないよう注意して掃除してください。

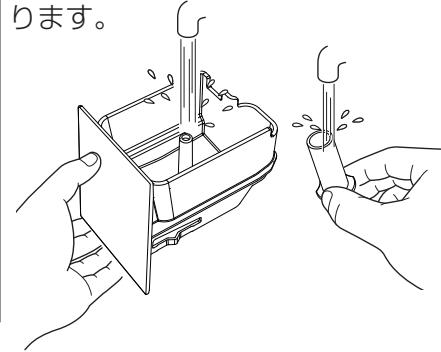


- ③ 柔軟剤投入ケースのキャップをはずす

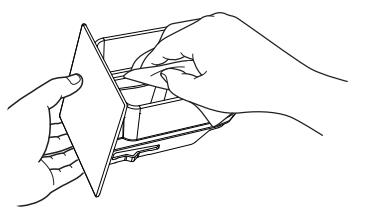


- ④ キャップの裏側・本体をよく洗う

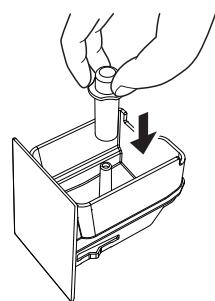
洗剤がこびりついたときは、約40℃のお湯で洗うと落ちやすくなります。



- ⑤ 柔軟剤投入ケース本体内側の水をよくふき取る



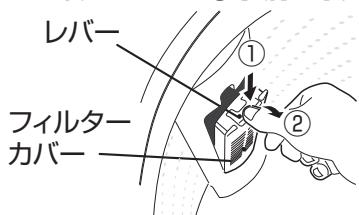
- ⑥ キャップをしっかり押して取り付ける



糸くずフィルターの清掃

1 フィルターカバーをはずす

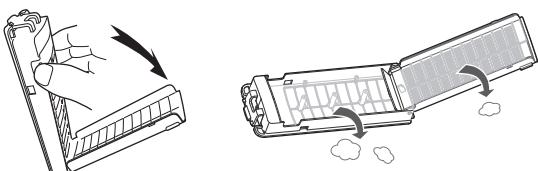
- ①レバーを押しながら②手前に引きます。



1

2 フィルターを開ける

フィルターカバー両端のストッパーからフィルターを開けます。



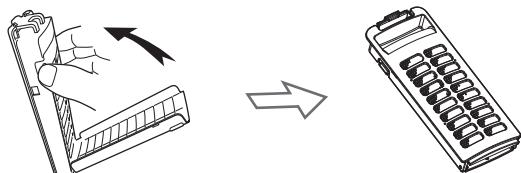
2

3 フィルターの掃除

たまつた糸くずを取りだして、水できれいに洗います。

3

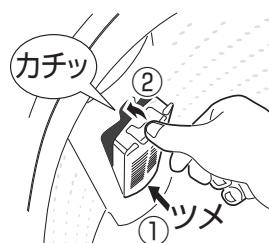
4 フィルターを取り付ける



4

5 フィルターを取り付ける

カバー下の①ツメを挿入し②レバーがカチッと音がするまで押し込む。



5

給水口の清掃

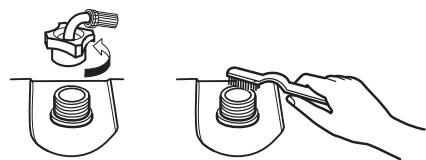
給水口にゴミがたまると、水の出が悪くなります。水の出が悪くなったら清掃してください。

1 水栓をしめる

- 2 洗い 運転を行い、給水ホースの水を抜く
10秒程度運転してください。給水ホースを外したときの水の飛び散りを防ぎます。

給水ホースをはずし、給水口内の青いフィルターキャップの水あか、さびなどの汚れを歯ブラシなどで取り除く

3



もしもの場合

水抜き（引越し・凍結の防止）

1 水栓をしめる

- 2 洗い 運転を行い、給水ホースの水を抜く
10秒程度運転してください。給水ホースを外したときの水の飛び散りを防ぎます。

3 脱水 運転を行い、洗濯・脱水槽の残水を排水する

- 4 給水ホースの水栓蛇口側をはずして、ホース内の残水をバケツなどに排水する

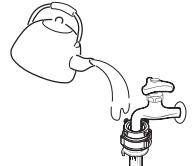


つぎの洗濯まではずしたままにする。

凍結してしまったら

給水ホースの接続部（水栓側と本体側）に50°C以下の温水をかける

- 1 水が飛び散る場合がありますので、タオルなどをあててください。床がぬれて困る場合は、蒸しタオルで包んでください。
- 2 給水ホースを外し、50°C以下の温水につける
- 3 50°C以下の温水を約1リットル洗濯・脱水槽に入れ、10分間そのままにする
- 4 給水ホースを接続し、水栓をあけて運転し、給水と排水ができるか確認する



据え付け (施工は必ず、お買い上げの販売店か施工業者にご依頼ください)

①設置場所

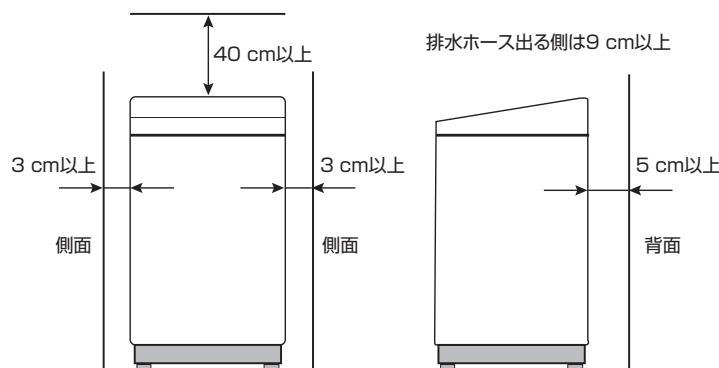
■丈夫な床に据え付けてください。

次の場所には設置しないでください

- 直射日光の当たる場所
- 屋外など冬期に凍結のおそれのある場所
- 給水・排水のできないところ
- 湿気の多いところ
(浴室には絶対に据え付けない)
- じゅうたんの上など
(故障の原因)
- タイルなどすべりやすい場所

設置するときの寸法関係

- 本体は前面を開放して、側面や背面は右図の寸法以上離してください。
- 排水パイプが出る側は壁まで 9 cm 以上離してください。
振動や異音を防ぐためです。

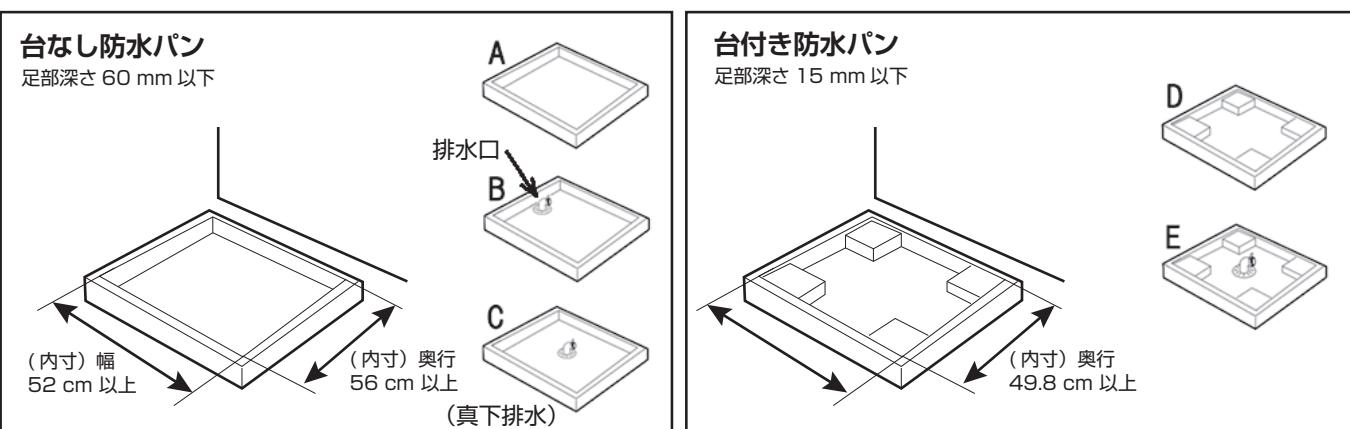


防水パンについて

- 万が一の水漏れにそなえ、防水パンの使用をおすすめします。
- 防水パン周囲の壁部分に脚が乗り上げないようにしてください。(振動、異音のおそれがあります。)
- 防水パンが設置されておらず、床が防水でない場合、洗濯機用トレイをご使用ください。

■防水パンサイズについて (参考)

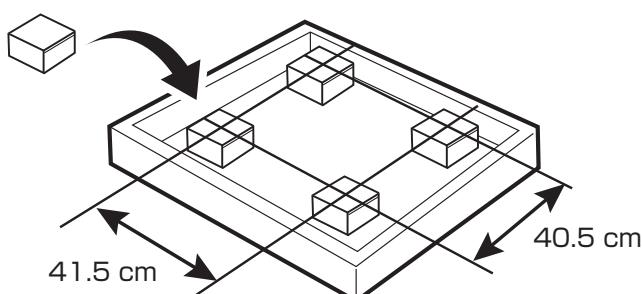
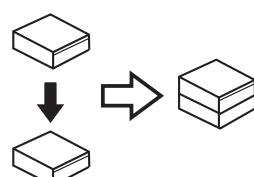
防水パンサイズ、壁までの設置寸法を確認してください。脚を載せる台がある台付き防水パンと台の無い防水パンで、設置寸法が異なります。



※ 上記台無し防水パンで A の排水口部がないもの、C の真下の排水口が設置されているものには、下記のような市販の高さ調整脚を必ずご使用ください。A の場合、排水経路に異常が発生した場合などに製品のモーター部分が水に触れることを防止できます。また C の場合は製品下部の干渉を防止できます。

市販の高さ調整脚 高さ 40 mm 以上

※高さが 40 mm 未満の場合は 2 枚重ねて使用してください。



水栓の確認

横水栓	角水栓	オートストッパー水栓（洗濯機用）	万能ホーム水栓	自在水栓	カップリング横水栓
付属の給水つぎ手を取り付けてください。 	16mm以上必要です 	直接、給水ホースを取り付けることができます。 付属のマジックつぎ手は使用しません。	取り外す 	ここから水もれの恐れがあります 	取り外す 取り付けができるもストッパーが付いていないと使えません

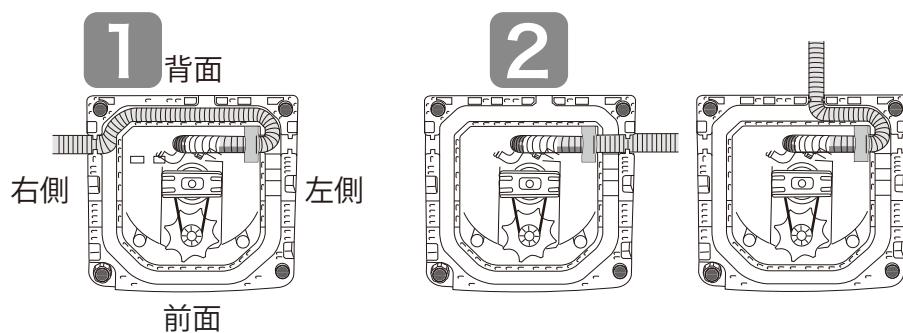
- 上記以外の水栓部品は使用しないでください。ツバがないと外れて水漏れするおそれがあります。
- 水栓出口先端は平面で長さは10mm以上必要です。
- 出口の先端が平面でないときや問題があるときは、止水水栓等に交換してください。
- 給水ホースを取り付ける前に、必ず水栓ジョイント部分を確認してください。（汚れ、サビ、傷は水漏れの原因になります。取り除けない場合は、新しい水栓に交換してください。）

②排水ホースの設置

付け替え

工場出荷時に、本体右側に排水ホースはセットされています。

- 手前が下になるように、段ボールなどの上に寝かせる
- 排水ホースを溝に合わせしっかり入れ、左側または後ろ側に出す



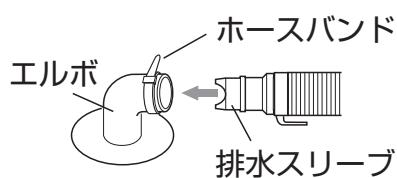
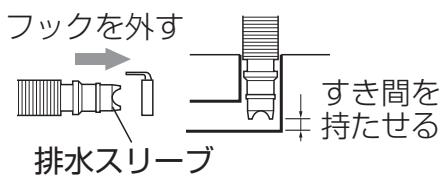
必要なときに

据え付け (つづき)

排水口に差し込む

排水ホース先端のフックをはずし、付属品の排水スリーブを取り付けて、排水口に差し込む

排水スリーブは排水ホースの先端がふさがれて排水が悪くならないように、すき間を持たせるためのものです。必ず取り付けて使用してください。



排水口がエルボの場合

排水ホースの先端部をエルボにしっかりと差し込み、ホースバンドで確実に固定してください。差し込みができないときは、排水スリーブをはずしてください。

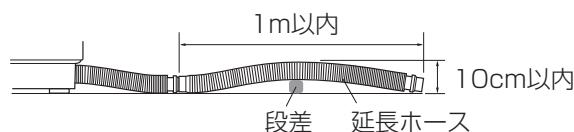
排水ホースの長さを調節する

ホースを延長する場合

延長ホースの先端部をしっかりと差し込み、確実に固定してください。

- 市販の「洗濯機用排水延長ホース」をご使用ください。
- 延長ホースの長さ、段差を越える場合の高さは右側の表に従ってください。

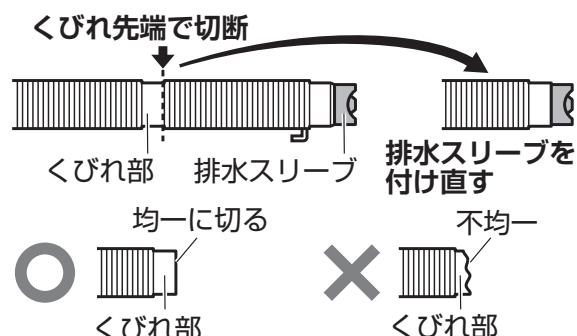
ホースの状態	ホースの高さ	延長ホースの長さ
途中で高くなる場合	10 cm 以内	1 m 以内
途中で高くならない場合	—	3 m 以内



排水ホースを短くする場合

均一に切断し、排水スリーブをしっかりと付け直してください。(安全のため手袋着用をお薦めします)

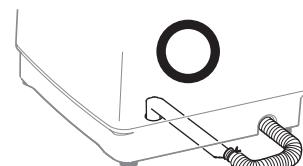
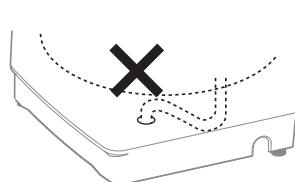
- 排水ホースのくびれ部をはさみやカッターで切断してください。
- 排水ホースの先端に付いている排水スリーブを付け直してください。



洗濯機の真下に排水口がある場合 (別売の真下排水パイプをお買い求めください。☞ 7 ページ)

排水ホースに真下排水パイプを取り付ける

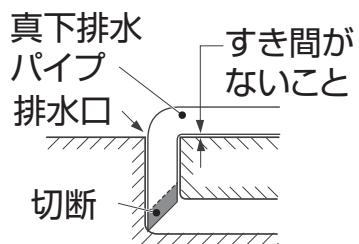
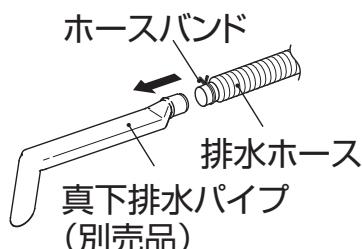
排水ホースを直接排水口に差し込まないでください。



(洗濯機側面)

真下排水パイプを排水口に差し込む

排水口のフチが平らであることを確認してください。真下排水パイプが長くて排水口に垂直に入らない場合は、先端部を切断してください。

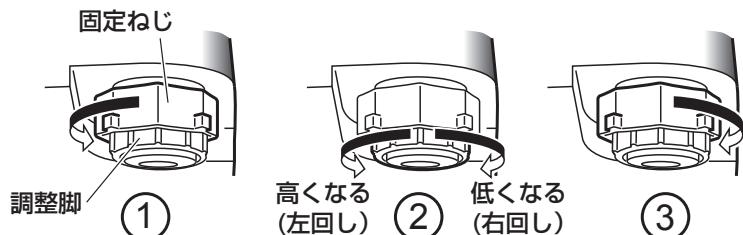


③水平を確認する がたつきのない設置

がたつきがないように、右手前 1 力所の高さ調整脚を回して調整する

- ① 固定ねじをゆるめる(左回し)
- ② 調整脚を回して、脚の高さを調節する
- ③ 固定ねじで確実に固定する(右回し)

確実に締め付けないと振動の原因になります。



洗濯機の対角を押して、がたつきがないか確認する

- 水平が出ないときは板材などのスペーサーで調整してください。

④給水ホースの接続

給水ホースと洗濯機の接続

給水ホースは付属品の新品を取り付けてください。古いものを使うと水漏れの原因になります。

1. 給水ホースのナットを水平に右に回して給水口にしっかりと締め付ける
 2. ゆっくりホースを引いてしっかりと付いたか確認する
 3. 洗濯の開始時、終了時、給水ホースの接続部分に水もれがないか確認する
- 給水ホースのナットを水平でなく斜めに締めると、給水口のねじが壊れる場合があります。



水栓と給水ホースの接続

洗濯機専用水栓の場合

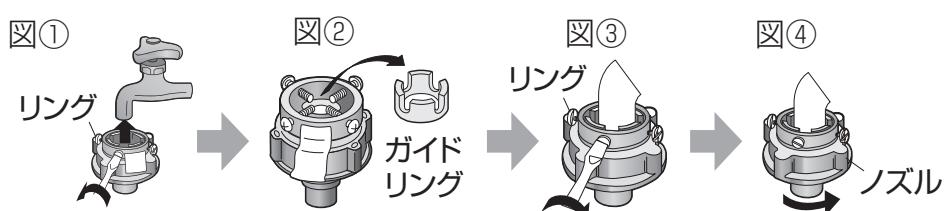
1. スリーブを引き下げ、水栓に給水ホースを挿入する(給水つぎ手は不要です。)
2. 挿入したあと、給水ホースを上下に引っ張ってはずれないか確認する

洗濯機専用水栓でない場合

①給水つぎ手を水栓に取り付ける (リングのラベルはまだはがさないでください)



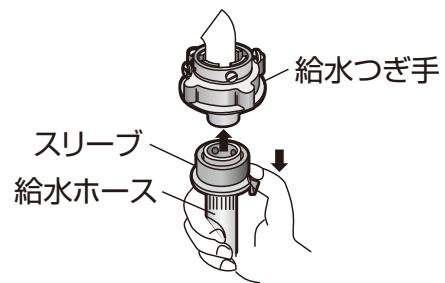
1. リングのネジ(4本)をゆるめる。(図①)
2. 水栓出口の径が大きい場合、リングのねじ(4本)をゆるめて、中のガイドリングを取りはずす(図②)水栓出口の先端が平面でないと、水もれの原因になります。
3. 水栓出口に垂直に押しつけ、水栓出口がリングの中心となるよう、リングのねじ(4本)を均等にしっかりと締め付ける(図③)
4. リングに貼り付けているラベルをはがし、ノズルを右に回して、しっかりと締める(図④)



据え付け (つづき)

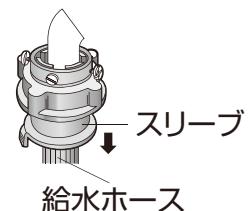
②給水つぎ手と給水ホースの接続

- 給水ホースのスリーブを引き下げる、給水つぎ手に差し込んでスリーブを離す
- 給水ホースを下に引いてはずれないか確認する
- 給水ホースが折れていないかを確認する
(以前も給水つぎ手を使用していた場合、水漏れのおそれがあるので蛇口の同じ位置にねじを固定しないでください。)



給水ホースのはずしかた

- 水栓をしめる
- 洗い** 運転を行い、給水ホースの水を抜く
10秒程度運転してください。給水ホースを外したときの水の飛び散りを防ぎます。
- スリーブを下に引いて、給水ホースをはずす



⑤アースについて

■コンセントにアース端子があるとき

アースの先端を確実にアース端子に接続してください。

■アース工事について

安全にご使用いただくため、□種接地工事が
必要です。詳しくは、お買い上げの販売店にご
相談ください。

(工事費は本体価格に含まれていません。)

! 警告	<ul style="list-style-type: none">必ずアースをする アースしないと感電の恐れがあります。水道管、ガス管には接続しない 感電・爆発の原因になります。電話線や避雷針のアースには接続しない 感電の原因になります。
-------------	--

⑥電源（コンセント）について

- 定格 15A 以上、交流 100V のコンセントを単独で使用。（タコ足配線をしない。延長しない）
- 本体や、周囲のモノでコードを挟まない。（コードを傷つけない）

⑦試運転について

- 水栓を開く
→水栓から水漏れがないか確認してください。
- 洗濯物は入れないで、ふたを閉めて、
切入 を押し、**スタート一時停止** を押す
- 約 5 分間運転をする
→異常音や、水漏れがないか確認してください。
- スタート一時停止** を押し、ふたロックが解除し、ふたが開くことを確認してください。
- ふたを閉め **切入** を押し電源を切り、
再度電源を入れる
- ふたが閉まっている状態で **脱水** を長押しし
脱水のみを設定し **スタート一時停止** を押す
→排水が始まるので、排水ホースから水漏れがないか確認してください。
- 約 3 分間運転をする
→異常音や、異常振動がないか確認してください。
- スタート一時停止** を押し、一時停止する
→ふたロックが解除されてふたが開くか確認してください。
- 切入** を押し電源を切る

Q&A 洗剤・柔軟剤の自動投入について

Q ご質問

A 回答

自動投入で使用できないものはなんですか？

次のものは自動投入では使えません。手動投入でご使用ください。

- おしゃれ着用液体中性洗剤（毛・絹用）
- 粉末合成洗剤 / ● タップレット型洗剤や柔軟剤 / ● ビーズ状仕上げ材
- 液体せっけん（そよ風など） / ● 容器に使用量の目安表示がないもの
- 粉石けん（手動投入する場合 ☞ 14 ページ）
- 重曹は、自動投入でも手動投入でも使用できません。

洗剤や柔軟剤の銘柄を替えるときはどうしたらよいでしょうか？

次の手順で替えてください。

- ① 自動投入タンクを空にしてお手入れをします。(☞ 26 - 27 ページ)
(異なる銘柄が混ざると詰まるおそれがあります。)
- ② 洗剤や柔軟剤を入れ再設定をします。(☞ 10 - 12 ページ)

無くなる前に継ぎ足しても大丈夫ですか？

- 同じ銘柄の洗剤や柔軟剤であれば、そのまま注ぎ足すことができます。

洗剤や柔軟剤の基準量はどこを見れば分かりますか？

- 基準量は、水 30L に対する洗剤、柔軟剤の使用量のことです。容器の記載をご確認ください。記載が無いときや不明なときは、洗剤メーカーにお問い合わせください。

自動投入タンクが満杯の状態で何回位洗濯できますか？

- 洗剤で約32回です。(基準量が 10m ℥ の洗剤で標準、洗濯物が 7kg の場合)
 - 柔軟剤で約 32 回です。(基準量が 10m ℥ の柔軟剤で標準、洗濯物が 7kg の場合)
- ※回数は目安です。洗剤、柔軟剤の種類によって異なります。

洗剤や柔軟剤の基準量を設定しないとどうなりますか？

- 洗剤、柔軟剤とも水 30L 当たりの使用量 10m ℥ が基準量になります。
- お使いの洗剤や柔軟剤に合った設定をしないと、汚れが落ちなかったり、洗濯物が黒ずむおそれがあります。

洗剤投入ケースにも洗剤や柔軟剤を入れて運転するとどうなりますか？

- 自動投入と手動投入の両方に洗剤や柔軟剤が投入されるので、すすぎきれない場合があります。
- 手動投入で洗濯するときは、自動投入の設定を解除してください。

自動投入タンク・経路のお手入れのタイミングは？

- 3 か月に 1 回、または洗剤や柔軟剤の銘柄を替えるときや 1 か月以上使用しなかったときです。(☞ 26 - 27 ページ)

洗剤や柔軟剤の残量が少なく、補充しないで放置した場合はどうなりますか？

- 自動投入タンク・経路で洗剤や柔軟剤が詰まるおそれがあります。1 か月以上補充しなかったときは、お手入れをしてください。(☞ 26 - 27 ページ)

洗剤や柔軟剤を長期間、自動投入タンクに入れたまま大丈夫ですか？

- 放置すると自動投入の経路が詰まるおそれがあります。

タンク内の柔軟剤がゼリー状になっていたらどうすればよいですか？

- 使用できませんので、お手入れをして新しいものを補充してください。(☞ 26 - 28 ページ)

必要なときに

故障かな？！と思ったら

ご使用中に異常が生じたときは、つぎの点をお調べください。それでも正常に戻らないときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉めて、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご連絡ください。

こんなとき	お調べいただくこと
運転しない	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグはきちんと差し込まれていますか。● ご家庭のブレーカーが切れていませんか。● 停電ではありませんか。● 電源  ボタンは押しましたか。● スタート  ボタンは押しましたか。● 予約運転中ではありませんか。（☞ 20 ページ）
水漏れする	<ul style="list-style-type: none">● 水栓の形状は適していますか。（☞ 31 ページ）● 給水つぎ手リングのねじやノズルがゆるんでいませんか。（☞ 33 - 34 ページ）● 給水口のナットがゆるんでいませんか。（☞ 33 ページ）● 付属品と異なる給水ホース／給水つぎ手を使用していませんか。（☞ 33 - 34 ページ）● 給水ホースがはずれたり、破れたりしていませんか。● 排水ホースが排水口からはずれていませんか。（☞ 32 ページ）
異常音が出る 振動が大きい	<ul style="list-style-type: none">● 洗濯機が傾いたり、ガタついていませんか。（☞ 33 ページ） 据え付けが不安定な場合、脱水の振動や音が大きくなります。● 洗濯物が片寄っていませんか。 片寄ると脱水時の振動が大きくなります。● ヘアピン、金属物と一緒に洗っていませんか。● 給水ホースが壁などに接触していませんか。● 排水ホースは（☞ 31 - 32 ページ）<ol style="list-style-type: none">①正しく接続固定されていますか。②先端がはずれていませんか。③ホースのたるみが本体に当たっていませんか。● 電源コードやアース線が本体に接触していませんか。
柔軟剤が洗濯槽に流れ出る	<ul style="list-style-type: none">● 柔軟剤投入口のキャップのつばの高さ以上に入れすぎると、洗濯槽に流れ出ます。（☞ 14 ページ）
ふたが開かない	<ul style="list-style-type: none">● 運転中は、ふたロックが作動します。（☞ 3 ページ） ふたロックランプ  が点灯していませんか。● 運転中に電源を切ると、ふたロックしたままになります。（☞ 3 ページ）● チャイルドロックを設定しているとふたが開きません。（☞ 3 ページ） チャイルドロックランプ  が点灯していませんか。

下記のような場合は故障ではありません。

こんなとき	お調べいただくこと
初めて使用するときに排水ホースから水が出る	● 工場での性能テスト時の残水です。
運転の途中で止まる	● 洗い、脱水、給水、排水などの運転切り換え時、一時的に数秒止まることがあります。
運転切換え時に音がする	● 洗濯機内部で運転切換え時に、弁などガチャッという音がします。
排水時に音がする	● 排水経路で水と空気が混じり合うためにポコポコという音がします。
洗濯物の量に対し水量が合わない	● 洗濯物によっても自動計量水量は異なります。水量が合っていないと感じられる場合は、スタートを押す前に、水量ボタンで手動で設定してください。
すぎからスタートしても給水が始まらない	● 洗濯・脱水槽に水がない場合でも脱水から始まり、一定時間の脱水後に給水、すぎとなります。
脱水の途中ですすぎになる	● 脱水時に洗濯物の片寄りがあると、注水してすぎを行い片寄りを自動修正します。片寄りが直らない場合（最大3回）は、運転を停止します。
脱水が不十分	● 洗濯物の量や材質によって脱水状態は変わります。脱水が不十分と感じられる場合は、再度脱水を行ってください。
残時間表示が正確でない	● 洗濯物の量、水道水圧、排水状況などで運転時間は変動します。表示された残り時間は目安です。
ラジオに雑音が入る テレビに線が出る	● ラジオ、テレビを洗濯機から離してください。

こんな表示がでたときは

ご使用中に異常が生じ、操作パネルに下記のお知らせ表示がでた際は、下記のご対応に従ってください。それでも正常に戻らないときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉めて、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご連絡ください。

お知らせ表示	ご対応いただくこと
E 1	<ul style="list-style-type: none">●ふたを確認してください。 ①開いていませんか。 ②完全に閉まっていますか。 ③異物が挟まっていますか。
E 3	<ul style="list-style-type: none">●排水ホースを確認してください。 ①ホースを横にかけたままになっていますか。 ②正しく取り付けられていますか。 (☞31-32ページ) ③つぶれたり凍結していませんか。 ④先端が水につかっていませんか。 ⑤途中が高くなっていますか。 (☞32ページ) ⑥長すぎませんか。 (☞32ページ)●排水口や排水ホースに糸くずなどが詰まっていますか。
E 4	<ul style="list-style-type: none">●水栓は全開していますか。●給水口の青いフィルターキャップにゴミがたまっていますか。 (☞29ページ)●断水していませんか。●水道や給水ホースが凍結していませんか。 (☞29ページ)
U n	<ul style="list-style-type: none">●洗濯物が片寄っていますか。●本体がガタついていたり傾いた状態で設置していませんか。
U L	<ul style="list-style-type: none">●ふたがきっちり閉まっていますか。

お知らせ表示に上記以外の「E ●●」が表示されたときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉めて、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご連絡ください。

仕様

種類	全自動電気洗濯機	使用水道水圧	0.03 ~ 0.8 MPa (0.3 ~ 8kgf/cm ²)
電源	AC100V 50/60Hz 共用	標準水量	50L
標準洗濯容量	7 kg (乾布質量)	標準使用水量	95L
標準脱水容量	7 kg (乾布質量)	外形寸法	幅540×奥行535×高さ960(mm)
洗濯方式	うす巻式	質量	30 kg
定格消費電力	370 W/420 W	電源電線の長さ	1.9 m

●標準洗濯・脱水容量は、JIS（日本産業規格）で規定された布地で乾燥状態の場合です。

アフターサービスについて

● 保証書（添付）

「お買い上げ年月日」と「販売店名」等所定事項の記入及び記載内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。記載内容をよくお読みになり大切に保管してください。

● 保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

● 補修用性能部品の保有期間 6 年

この商品の補修用性能部品は、製造元が製造打ち切り後 6 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

● 修理を依頼されるとき

「故障かな？！」の表にしたがってご確認ののち、直らないときは、まず安全のため電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターへご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定にしたがって、出張修理、または（場合によっては）商品の交換をさせていただきます。

● 保証期間終了後は

保証期間終了後は診断をして、修理できる場合はご要望により有料修理させていただきます。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料：診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代：修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料：お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

● その他

- 商品に異常がある場合には、お客様で自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。
- アフターサービスについてご不明な点は、弊社サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

<弊社サポートセンターについて>

● 電話によるお問い合わせ

受付時間：365 日 9:00 ~ 18:00

固定電話：0120-835-111

携帯電話：0570-033-677(有料)

※上記電話番号がご利用いただけない場合

050 - 2018 - 6700 (有料)

● FAXによるお問い合わせ

FAX 番号：0570-06-1117 (有料)

お客様のご連絡先、型番、ご購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。

● メールによるお問い合わせ

電子メールでのお問い合わせは <http://www.hisense.co.jp> のお問い合わせのページで受け付けています。お客様のご連絡先、型番、ご購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。

受付時間：24 時間受付。土日・祝祭日を挟んだ場合、およびご質問の内容によっては、回答までに日数がかかる場合があります。あらかじめご了承ください。

サポート受付に関しては変更させていただく場合がございます。

弊社のホームページでサポート時間などをご確認の上、ご利用いただくようお願いいたします。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

経年変化により危険の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体におこなっています。

【製造年】（本体に西暦 4 術で表示してあります）



【設計上の標準使用期間】7 年
設計上の標準使用期間を超えてお使い
いただいた場合は、経年劣化による発火・
けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、右記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は無償保証期間と異なります。また一般的な故障を保証するものではありません。

■標準的な使用条件 JIS C 9921-4 による

区分	項目	条件
環境条件	電圧	単相 100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温度	20°C
	湿度	65%
負荷条件	負荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧力	0.03 ~ 0.8MPa
	給湯・給水温度	20 ± 15°C
使用時間 および回数	1 日の平均使用回数	1.5 回
	1 回の使用時間	標準コースの時間
	1 年間の使用日数	365 日
	1 年間の使用回数	1.5 回 × 365 日 = 547.5 回 / 年

経年劣化とは

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外で使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

全自动電気洗濯機 保証書 出張修理

Hisense

品番	HW-K70XL-W
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より本体 1 年間
お買い上げ店 住所・店名・電話	

【お客様情報】

お名前	
ご住所	
お電話番号	

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書・本体表示の注意書きに従い、正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、本書記載内容の範囲内で無料修理いたします。
お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
2. ご転居・ご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理を依頼できない場合は、ハイセンスサポートセンターへお問い合わせください。
3. 保証期間中でも、次の場合には有料修理になります。
(1) 使用上の誤りや、不当な修理・改修による故障または損傷。
(2) お買い上げ後の取付場所の移動・引っ越し・輸送・落下などによる故障または損傷。
(3) 火災・水害・落雷・地震・その他の天災地変・公害・塩害・異常電圧などによる故障または損傷。

★保証書にご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動、以後の安全点検活動に利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

★この保証書は、明示した期間・条件のもとで修理をお約束するものです。したがって、この保証書により保証書発行者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはハイセンスサポートセンターへお問い合わせください。

★保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書のアフターサービスについてをご覧ください。

ハイセンスジャパン株式会社

〒212-0013

神奈川県川崎市幸区堀川町 66 番地2

サポートセンター電話番号：

固定電話：0120-835-111

携帯電話：0570-033-677 (有料)

受付時間：365 日 9:00 ~ 18:00

修理のお問い合わせに際して、<修理規約>

<https://www.hisense.co.jp/repairpolicy/> をご確認ください。

あわせて、以下の<無償修理既定>をお読みください。

FAXによるお問い合わせは、取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。



(ニ) 一般家庭用以外（たとえば業務用・車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障または損傷。

(ホ) 本書のご提示がない場合。

(ハ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入または押印がない場合。

4. この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。

6. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理対応を行った場合は実費を申し受けます。

愛情点検



長年ご使用の洗濯機の点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 焦げ臭いニオイがする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 洗濯機に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 水漏れ（ホース・水槽・ホースつぎ手）
- 洗濯・脱水槽がとまりにくい。
- 据え付けが傾いたりぐらぐらする。
- その他、異常・故障がある。

異常があればご使用中止

事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

廃棄時のご注意

2001年4月施行の家電リサイクル法ではお客様がご使用済みの電気洗濯機を廃棄される場合は収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村へ適正に引き渡すことが求められています。

ハイセンスサポートセンター

固定電話：0120-835-111

携帯電話：0570-033-677 (有料)

ハイセンスジャパン株式会社

2494979-X08064501C

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町 66 番地 2